

健康とんだばやし 21（第二次）
及び
食育推進計画

アンケート調査結果

平成 27 年 3 月

富田林市

目 次

1.	アンケート概要	1
2.	市民健康づくりアンケート.....	2
3.	中学生用アンケート.....	38

1. アンケート概要

●調査目的

本調査は、富田林市における健康づくり、食育推進の基本となる「健康とんだばやし21（第二次）及び食育推進計画」地方計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

●調査対象

- ・配布数： 中学2年生 1,098人
成人（20歳～64歳） 1,300人

- ・回収数： 中学2年生 666人（回収率：60.7%）
成人（20歳～64歳） 587人（回収率：45.2%）

●調査時期

- ・発送：平成26年7月1日（火）
- ・投函締切：平成26年7月16日（水）

●調査方法

- 中学生：学校配布
- 一般市民：無作為抽出による郵送

●結果とりまとめの留意事項

- A) 設問ごとの有効回答数は「n=○」と表示しており、回答比率はこれを100%として算出している。
- B) 本報告書の数表における比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。

2. 市民健康づくりアンケート

市民 問1 【単独回答】

あなたの性別を教えてください。

回答者の性別は、「女性」が61.3%、「男性」が37.3%であった。

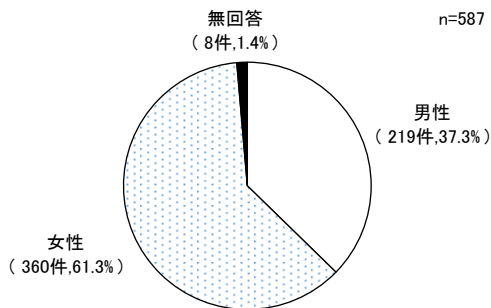


図 2-1 性別

市民 問2 【単独回答】

あなたの年齢を教えてください。

回答者の年齢は、「60～64歳」が最も多く18.6%、次いで「55～60歳」が18.2%であった。

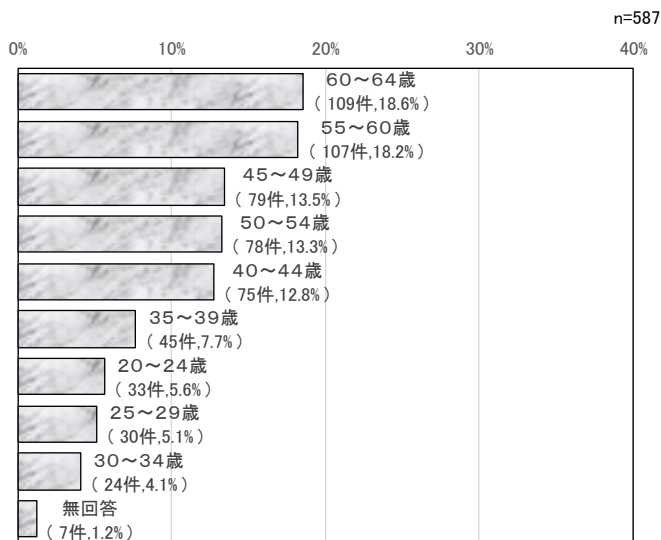


図 2-2 年齢

市民 問3 身長・体重・BMI【記述】

身長と体重をご記入ください。（小数点第1位まで）

回答者の身長分布は、「150～160cm」が最も多く37.3%、次いで「160～170cm」が33.9%であった。

体重分布は、「50～60kg」が最も多く35.1%、次いで「60～70kg」が21.0%であった。

BMI分布は、「普通体重」が最も多く67.8%、次いで「肥満(1度)」が16.5%であった。

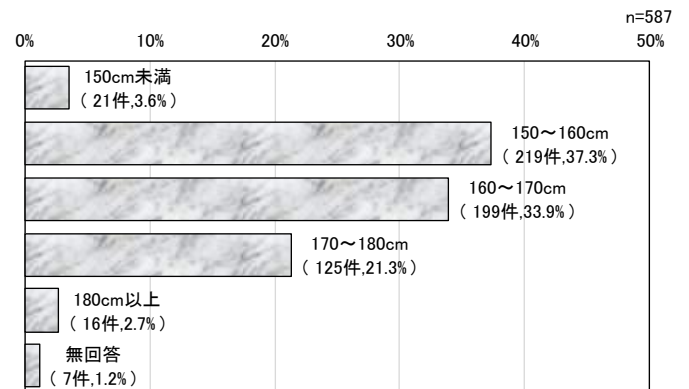


図 2-3 アンケート回答者の身長分布

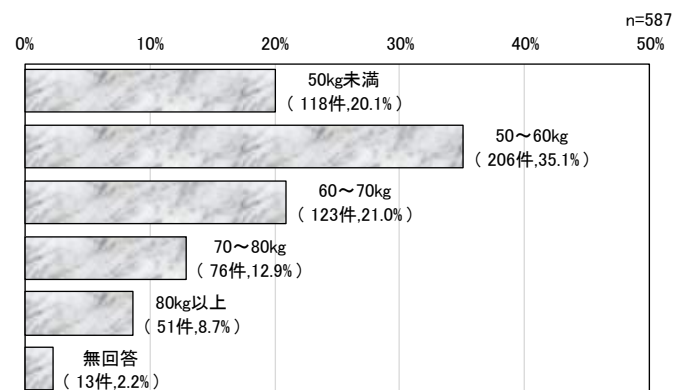
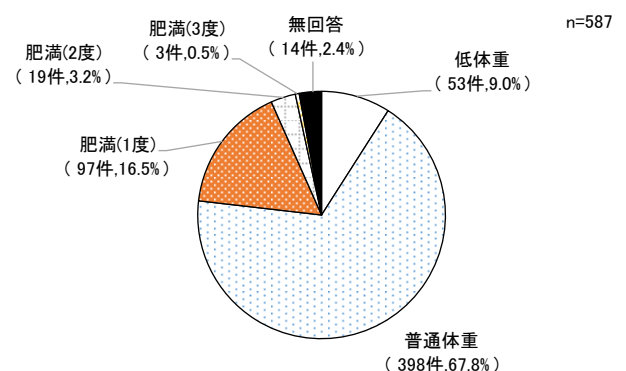


図 2-4 アンケート回答者の体重分布



※身長と体重を記述した回答者のみBMIを算出した。

図 2-5 アンケート回答者のBMI分布

市民 問3 身長・体重・BMI【記述】

男女別集計結果

男性の身長分布は、「170～180cm」が最も多く54.3%、次いで「160～170cm」が36.5%であった。

女性の身長分布は、「150～160cm」が最も多く59.4%、次いで「160～170cm」が33.1%であった。

男性の体重分布は、「60～70kg」が最も多く32.0%、次いで「70～80kg」が27.9%であった。

女性の体重分布は、「50～60kg」が最も多く45.8%、次いで「50kg未満」が31.4%であった。

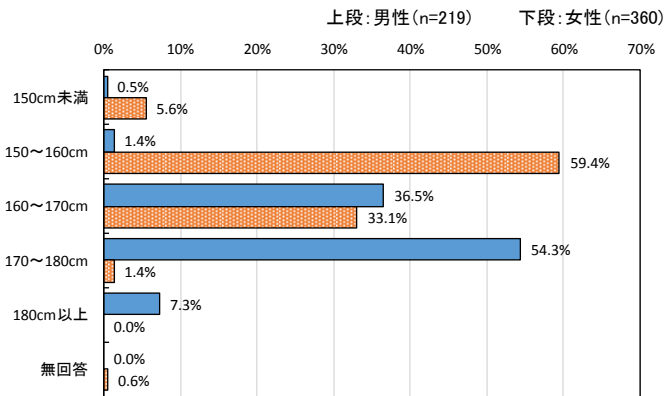


図 2-6 アンケート回答者の身長分布(男女別)

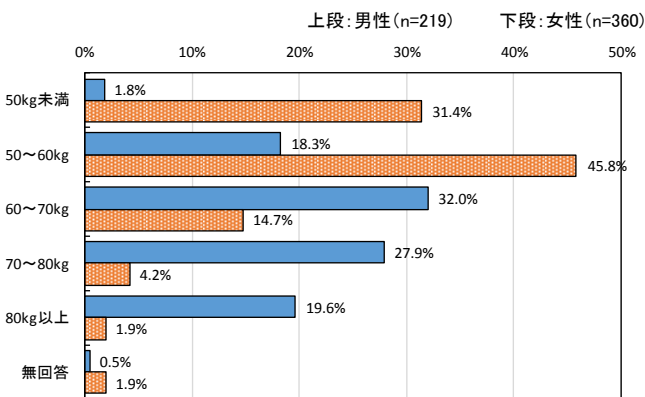
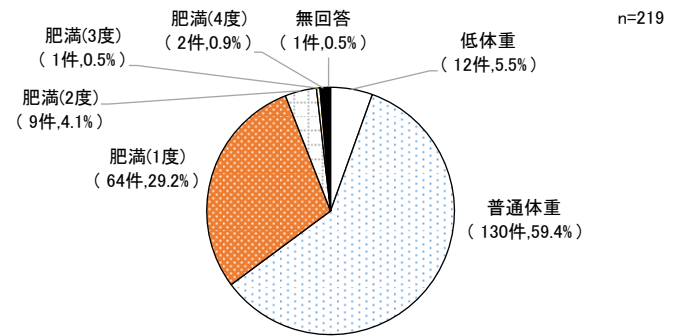


図 2-7 アンケート回答者の体重分布(男女別)

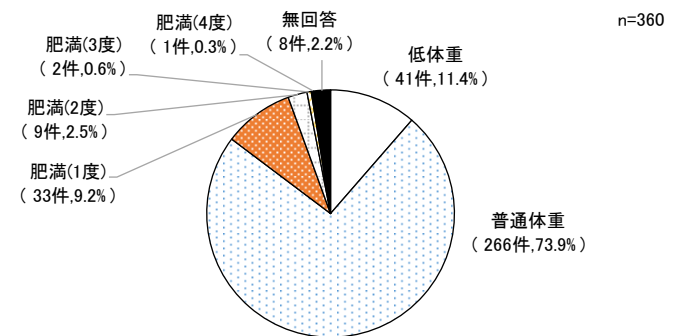
男性のBMI分布は、「普通体重」が最も多く59.4%、次いで「肥満(1度)」が29.2%であった。

女性のBMI分布は、「普通体重」が最も多く73.9%、次いで「低体重」が11.4%であった。



※身長と体重を記述した回答者のみBMIを算出した。

図 2-8 アンケート回答者のBMI分布(男性)



※身長と体重を記述した回答者のみBMIを算出した。

図 2-9 アンケート回答者のBMI分布(女性)

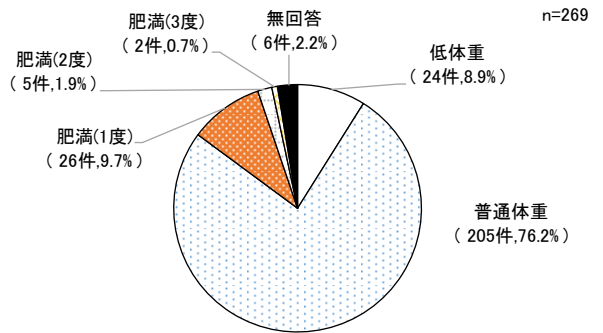
市民 問3 身長・体重・BMI【記述】

40～60代(40歳以上、70歳未満)女性の集計結果

40～60代女性の身長分布は、「150～160cm」が最も多く58.0%、次いで「160～170cm」が32.7%であった。

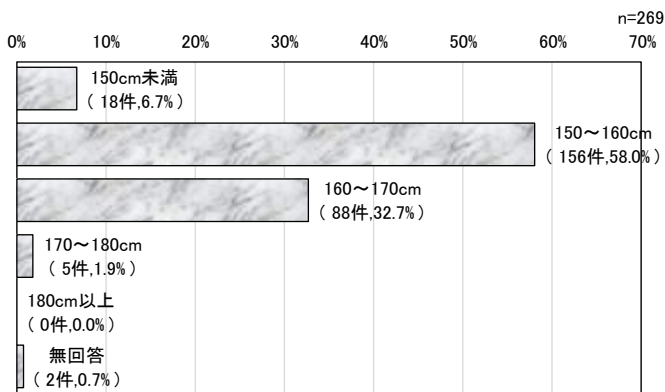
40～60代女性の体重分布は、「50～60kg」が最も多く45.7%、次いで「50kg未満」が29.7%であった。

40～60代女性のBMI分布は、「普通体重」が最も多く76.2%、次いで「肥満(1度)」が9.7%であった。



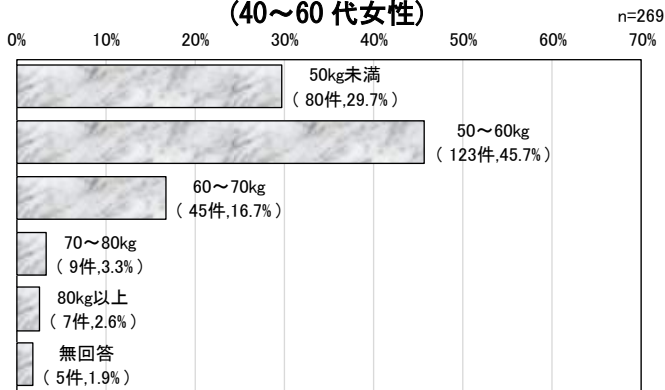
※身長と体重を記述した回答者のみBMIを算出した。
 ※年齢が40歳以上、70歳未満の回答者を集計対象とした。

図 2-12 アンケート回答者のBMI分布 (40～60代女性)



※年齢が40歳以上、70歳未満の回答者を集計対象とした。

図 2-10 アンケート回答者の身長分布 (40～60代女性)



※年齢が40歳以上、70歳未満の回答者を集計対象とした。

図 2-11 アンケート回答者の体重分布 (40～60代女性)

市民 問4 【記述】

あなたが理想と思う体重をご記入ください。
(小数点第1位まで)

回答者の理想とする体重は、「50～55kg」が最も多く22.5%、次いで「45～50kg」が22.1%であった。

また理想とする体重のBMIは、「普通体重」が最も多く84.3%、次いで「低体重」が8.0%であった。

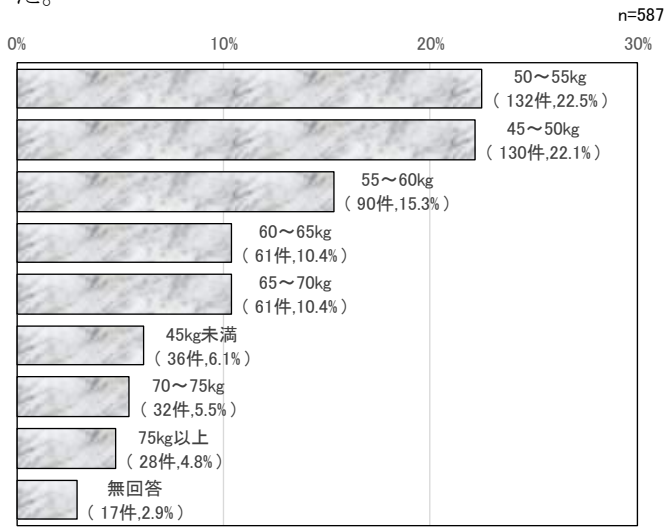
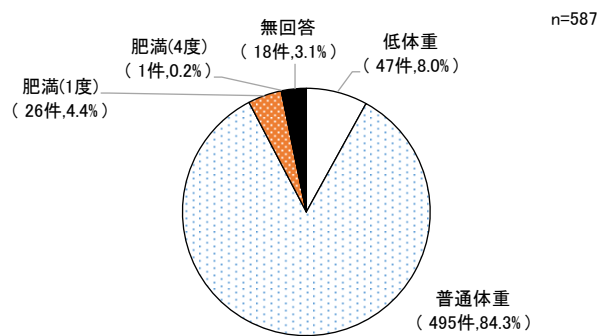


図 2-13 アンケート回答者が理想とする体重



※身長と理想体重を記述した回答者のみBMIを算出した。

図 2-14 アンケート回答者が理想とする体重のBMI

市民 問5 【単独回答】

自分の適性体重を知っていますか。

回答者の適正体重を知っている割合は、「知っている」が最も多く50.4%、次いで「知らない」が45.0%であった。

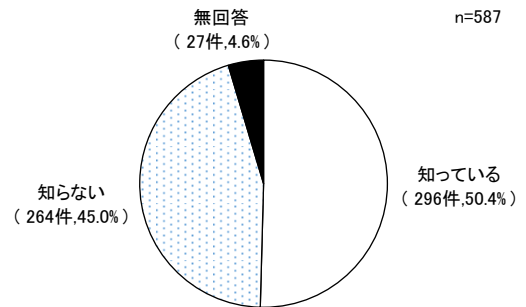
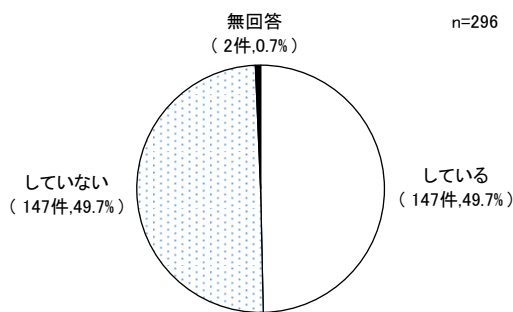


図 2-15 適正体重を知っている割合

市民 問6 【単独回答】

適正体重を維持するため、または近づけるために、
体重コントロールを実践していますか。

回答者の体重コントロールの実践状況は、「して
いる」と「していない」がともに49.7%であった。



※問5で1.「知っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

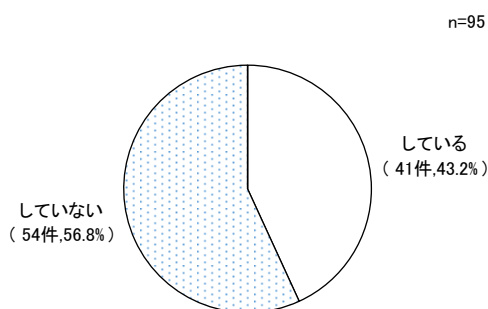
図 2-16 体重コントロールの実践状況

市民 問6 【単独回答】

男女別集計結果

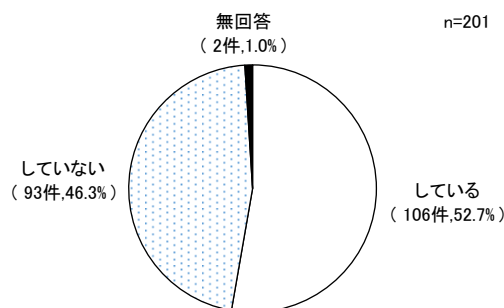
男性の体重コントロールの実践状況は、「してい
ない」が最も多く 56.8%、次いで「している」が
43.2%であった。

女性の体重コントロールの実践状況は、「してい
る」が最も多く 52.7%、次いで「していない」が
46.3%であった。



※問5で1.「知っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-17 体重コントロールの実践状況(男性)



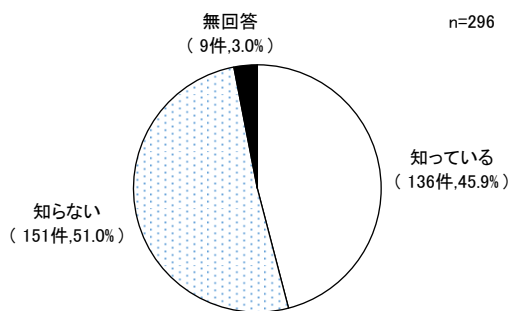
※問5で1.「知っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-18 体重コントロールの実践状況(女性)

市民 問7 【単独回答】

自分の適性体重を維持するのに必要な食事を
知っていますか。

回答者の適正体重維持に必要な食量の認知度は、「知らない」が最も多く51.0%、次いで「知っている」が45.9%であった。



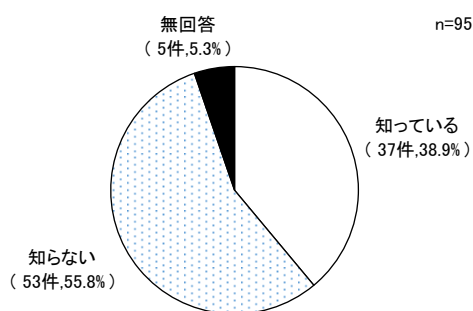
※問5で1.「知っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

市民 問7 【単独回答】

男女別集計結果

男性の適正体重維持に必要な食量の認知度は、「知らない」が最も多く55.8%、次いで「知っている」が38.9%であった。

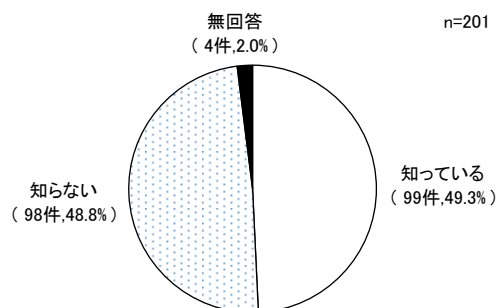
女性の適正体重維持に必要な食量の認知度は、「知っている」が最も多く49.3%、次いで「知らない」が48.8%であった。



※問5で1.「知っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-19 適正体重維持に必要な食量の認知度

図 2-20 適正体重維持に必要な食量の認知度(男性)



※問5で1.「知っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-21 適正体重維持に必要な食量の認知度(女性)

市民 問 8 【単独回答】

あなたは「食育」と言う言葉を知っていましたか？

回答者の「食育」という語の知名度は、「言葉も意味も知っていた」が最も多く 54.7%、次いで「言葉は知っているが、意味は知らなかった」が 34.9%であった。

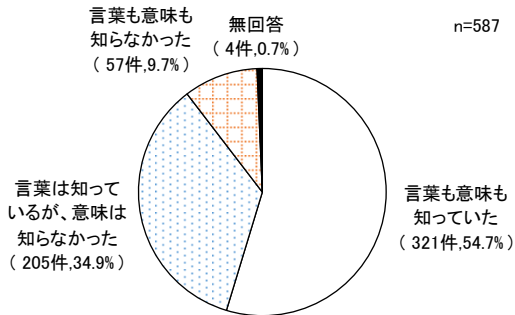


図 2-22 「食育」という語の知名度

市民 問 10 【単独回答】

あなたはふだん朝食を食べていますか？

回答者の朝食を食べる頻度は、「毎日食べる」が最も多く 78.5%、次いで「ほぼ毎日食べる」が 10.6%であった。

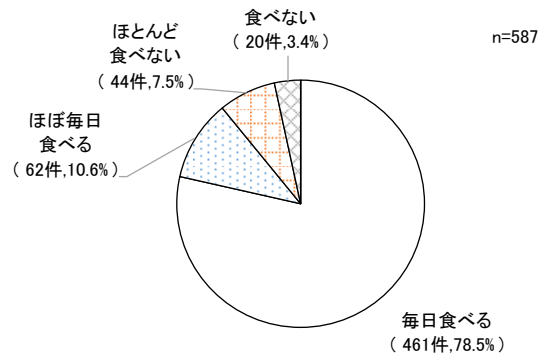


図 2-24 朝食を食べる頻度

市民 問 9 【単独回答】

あなたは食育に関心がありますか？

回答者の「食育」への関心は、「どちらかといえば関心がある」が最も多く 49.4%、次いで「関心がある」が 26.6%であった。

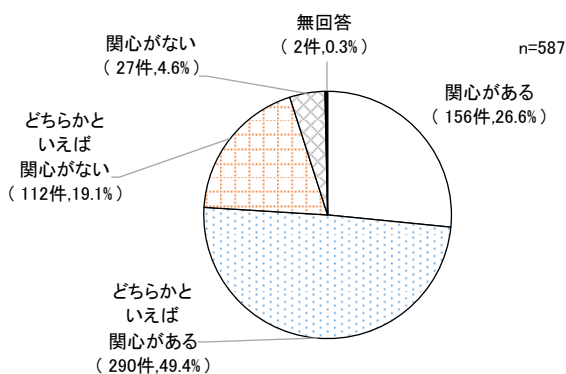
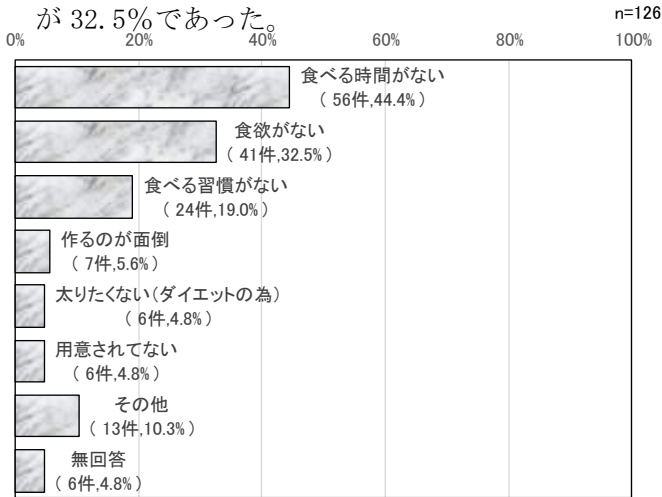


図 2-23 「食育」への関心

市民 問 1 1 【複数回答】

朝食を食べない日がある理由は何ですか？
(複数回答可)

回答者の朝食を食べない理由は、「食べる時間がない」が最も多く 44.4%、次いで「食欲がない」が 32.5%であった。



※問10で2、3、4のいずれかに答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-25 朝食を食べない理由

市民 問 1 3 【単独回答】

減塩(塩、しょうゆ、みそ等)を心がけていますか。

回答者の減塩の取組状況は、「はい」が最も多く 55.2%、次いで「いいえ」が 44.8%であった。

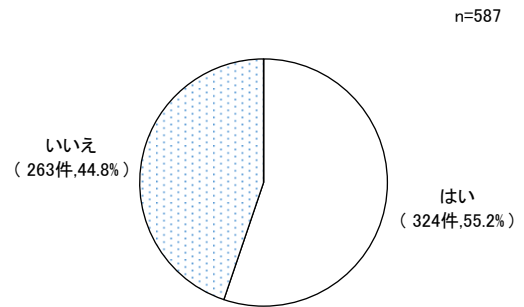


図 2-27 減塩の取組状況

市民 問 1 2 【単独回答】

あなたは普段どれぐらい野菜(野菜ジュース、漬物を除く)を食べていますか？

回答者の野菜を食べる頻度は、「毎日、1～2回は食べる」が最も多く 68.0%、次いで「週に何日かは食べる」が 16.5%であった。

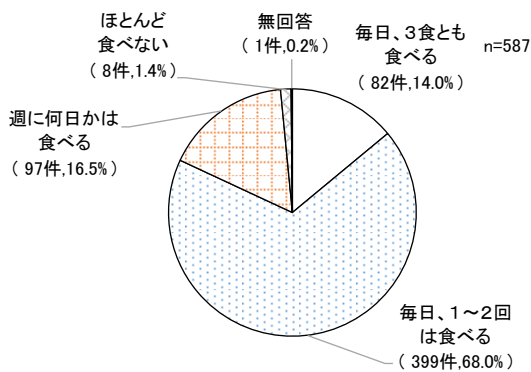


図 2-26 野菜を食べる頻度

市民 問 1 4 【単独回答】

食品購入や外食時に、右記のような栄養成分表示を見たり参考にしたりしますか？

回答者の食品や外食時の栄養成分表示の確認状況は、「はい」が最も多く 53.2%、次いで「いいえ」が 46.7%であった。

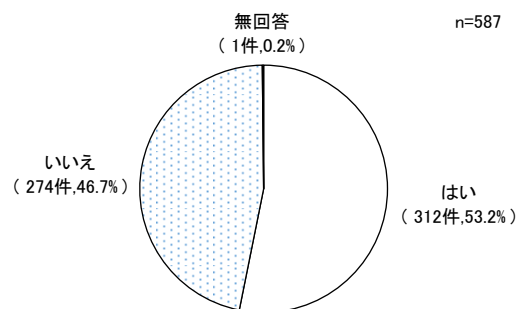


図 2-28 食品や外食時の栄養成分表示の確認状況

市民 問 1 5 【単独回答】

よく噛んで食べていますか？

回答者のよく噛んで食事する頻度は、「時々よく噛んでいる」が最も多く 48.4%、次いで「いつもよく噛んでいる」が 24.2%であった。

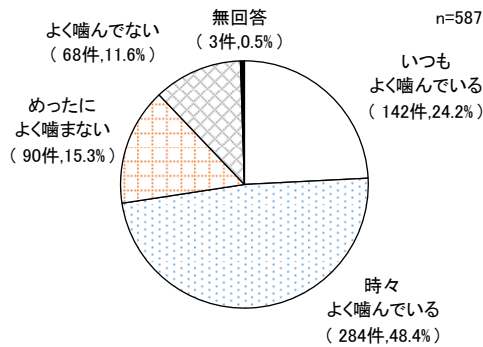
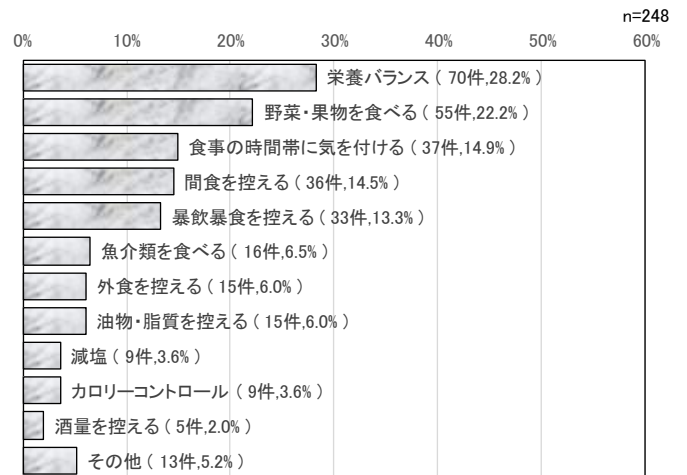


図 2-29 よく噛んで食事する頻度

市民 問 1 7 【自由意見】

日ごろの食生活で改善したい点はどのようなところですか。

回答者の食生活の改善点は、「栄養バランス」が最も多く 28.2%、次いで「野菜・果物を食べる」が 22.2%であった。



※問17に答えた回答者のみ意見分類を行い、集計対象とした。

図 2-31 食生活の改善点

市民 問 1 6 【単独回答】

日頃の食生活について、どのように思いますか。

回答者の日頃の食生活の状況は、「どちらかといえばよい」が最も多く 48.2%、次いで「少し問題点がある」が 28.6%であった。

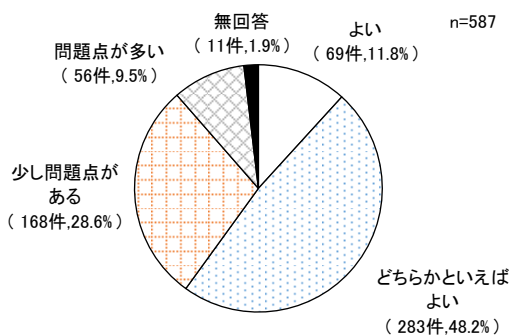


図 2-30 日頃の食生活の状況

市民 問 1 8 【単独回答】

主食・主菜・副菜をそろえて食べることが1日に2回以上あるのは週に何日ありますか？

回答者の主食・主菜・副菜をそろえて食べる頻度は、「ほぼ毎日ある」が最も多く 53.7%、次いで「毎日ある」が 23.0%であった。

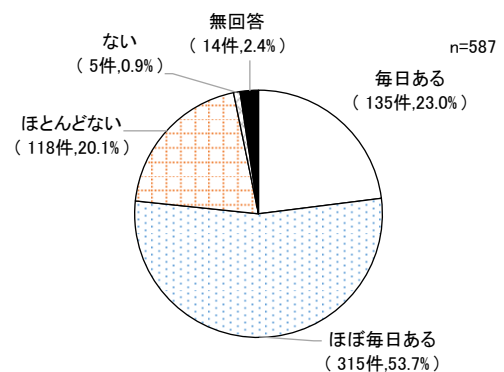


図 2-32 主食・主菜・副菜をそろえて食べる頻度

市民 問 1 9 【単独回答】

家族と同居されている方にお聞きします。
(それ以外の方は問 2 0 へ) 朝食や夕食についてあなたは普段、家族の誰かと一緒に食べることはどのくらいありますか？

回答者の食事を誰かと一緒にとる頻度は、「毎日食べる」が最も多く 40.5%、次いで「ほぼ毎日食べる」が 33.6%であった。

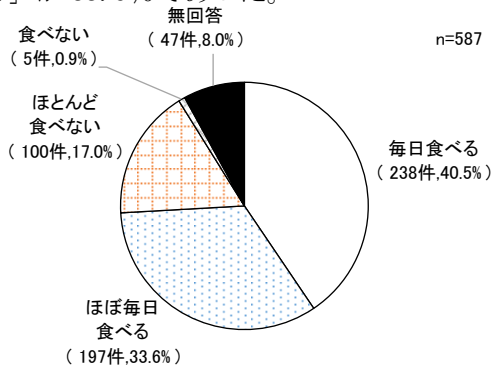


図 2-33 食事を誰かと一緒にとる頻度

市民 問 2 1 【単独回答】

あなたは富田林市産の農産物を利用したことがありますか？

回答者の富田林市の農産物の利用有無は、「ときどき利用する」が最も多く 47.7%、次いで「わからない」が 24.4%であった。

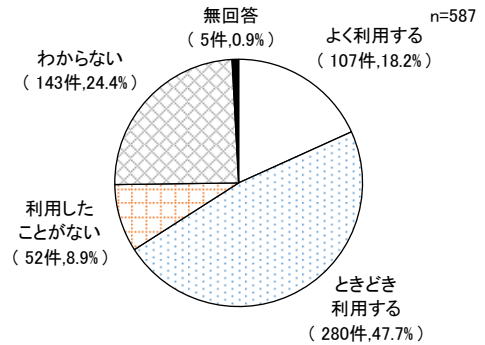


図 2-35 富田林市の農産物の利用有無

市民 問 2 0 【複数回答】

以下は富田林市の農産物です。あなたは富田林市の農産物を知っていますか？ 知っているもの全てに○をつけてください。

回答者の富田林市の農産物の認知度は、「大阪なす」が最も多く 75.3%、次いで「大阪きゅうり」が 38.3%であった。

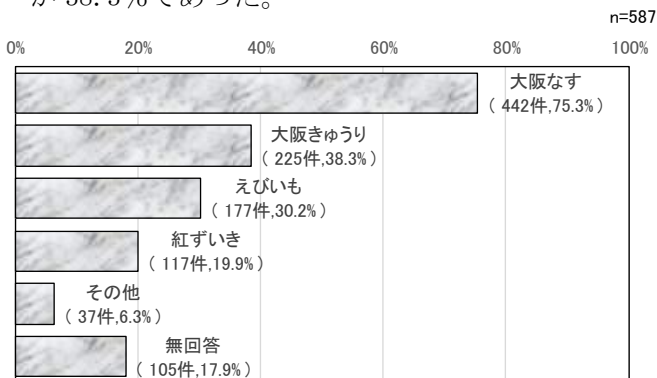


図 2-34 富田林市の農産物の認知度

市民 問 2 2 【単独回答】

農業体験をしたことがありますか。

回答者の農業体験の有無は、「ない」が最も多く 49.1%、次いで「ある」が 35.9%であった。

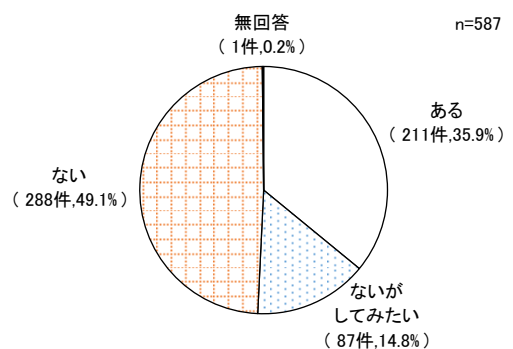


図 2-36 農業体験の有無

市民 問 2 3 【単独回答】

「食育ボランティア」に関心がありますか。

回答者の食育ボランティアへの関心度は、「どちらかといえば参加したくない」が最も多く 40.2%、次いで「機会があれば参加したい」が 28.6%であった。

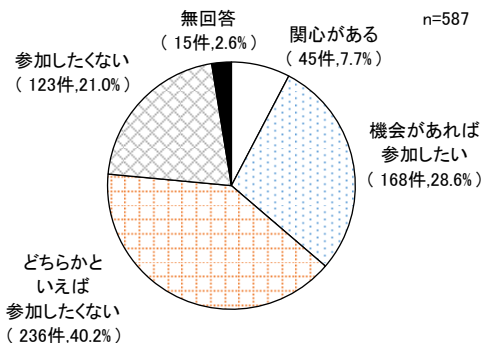


図 2-37 食育ボランティアへの関心度

市民 問 2 4 【単独回答】

あなたはアルコール類（ビール、ワイン、焼酎、ウイスキー、日本酒など）を飲むことがありますか。

(○は一つ)

回答者の飲酒の頻度は、「飲まない」が最も多く 36.6%、次いで「たまに飲む」が 26.9%であった。

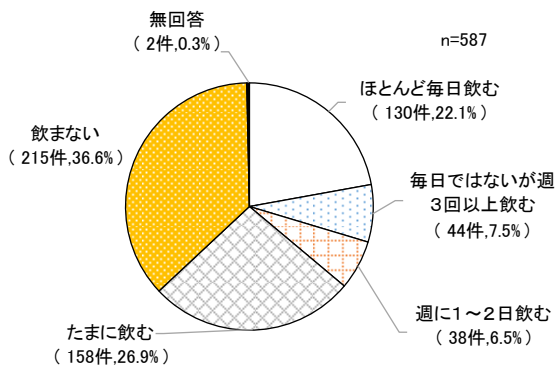


図 2-38 飲酒の頻度

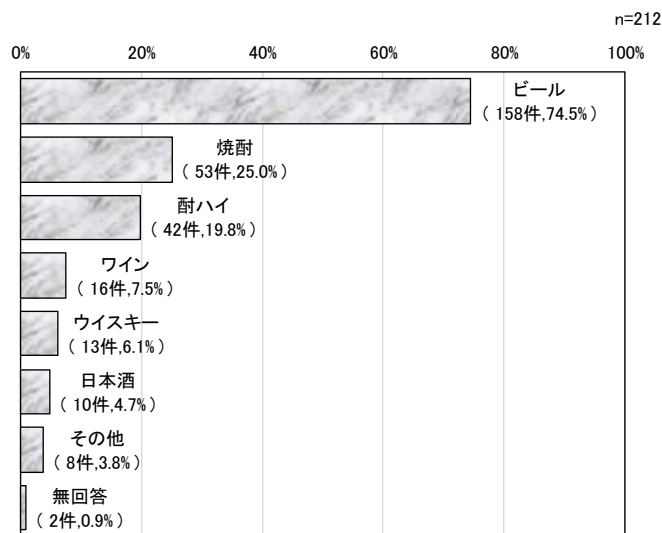
市民 問 2 5 【記述】

あなたが1日に飲むアルコールの分量は平均どれくらいですか？（あてはまる種類すべてに○をつけ、量についても記入してください。）

回答者の1日に飲むアルコールの種類は、「ビール」が最も多く 74.5%、次いで「焼酎」が 25.0%であった。その他のアルコールには、梅酒(4件)、ゆず酒(1件)、リキュール(1件)、ハイボール(1件)、^{※1} スミノフアイス(1件)があった

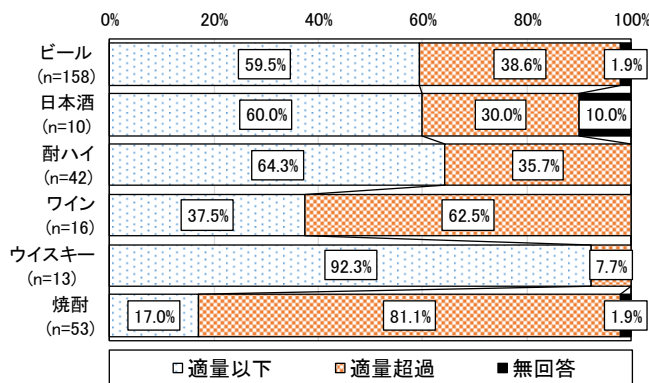
また、回答者の各種アルコール類ごとの飲酒量の適量以下・超過の割合は図 2-40 の結果であった。

※1 (スミノフアイス：ウォッカベースのカクテル飲料)



※問24で1、2、3のいずれかに答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-39 1日に飲むアルコールの種類



※問25に答えた回答者のみ集計対象とした。

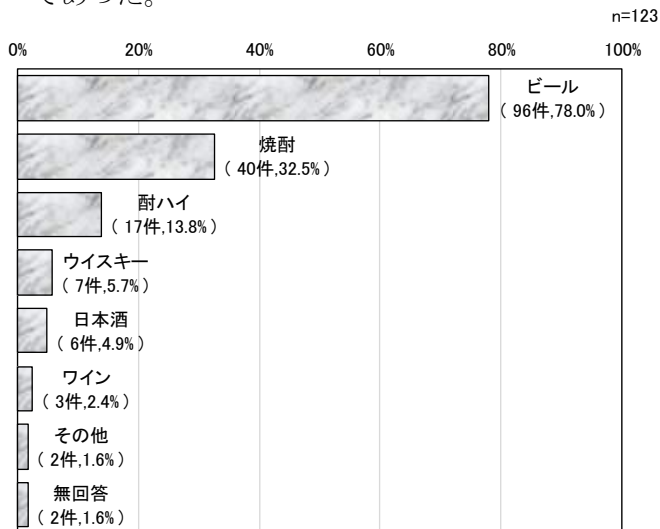
図 2-40 飲酒量の適量以下・超過の状況

市民 問25 【記述】

男女別集計結果

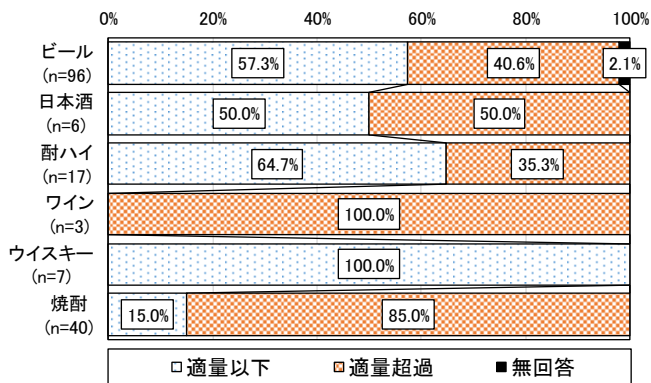
男性の1日に飲むアルコールの種類は、「ビール」が最も多く78.0%、次いで「焼酎」が32.5%であった。

女性の1日に飲むアルコールの種類は、「ビール」が最も多く69.0%、次いで「酎ハイ」が28.7%であった。



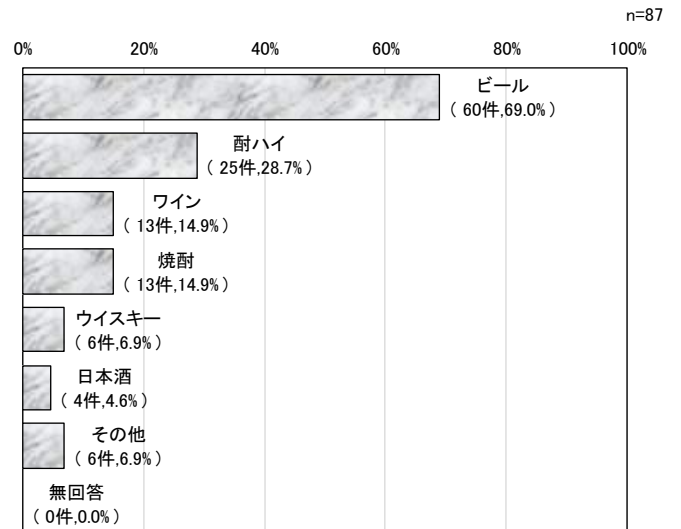
※問24で1、2、3のいずれかに答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-41 1日に飲むアルコールの種類(男性)



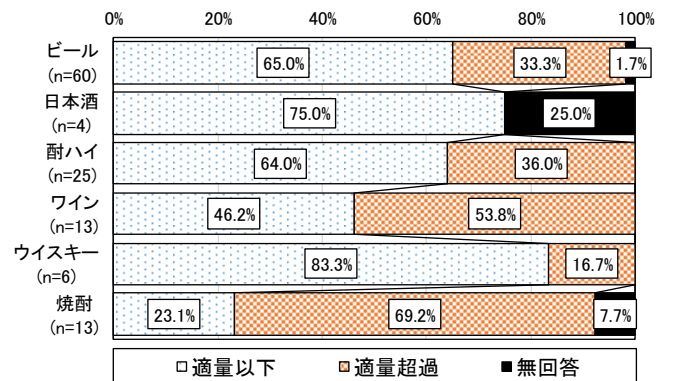
※問25に答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-42 飲酒量の適量以下・超過の状況(男性)



※問24で1、2、3のいずれかに答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-43 1日に飲むアルコールの種類(女性)



※問25に答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-44 飲酒量の適量以下・超過の状況(女性)

市民 問 2 6 【単独回答】

あなたは上記の1日のお酒の適量の事を知っていましたか。

回答者の1日の酒量・適量の認知度は、「知らなかった」が最も多く70.2%、次いで「知っている」が26.6%であった。

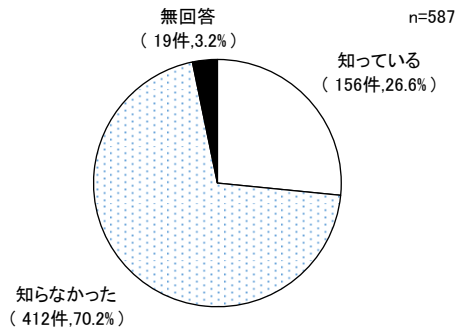


図 2-45 1日の酒量・適量の認知度

市民 問 2 7 【単独回答】

男女別集計結果

男性の喫煙経験の有無は、「吸わない」が最も多く51.1%、次いで「以前吸っていたが今はやめた」が24.7%であった。

女性の喫煙経験の有無は、「吸わない」が最も多く80.0%、次いで「吸っている」が11.1%であった。

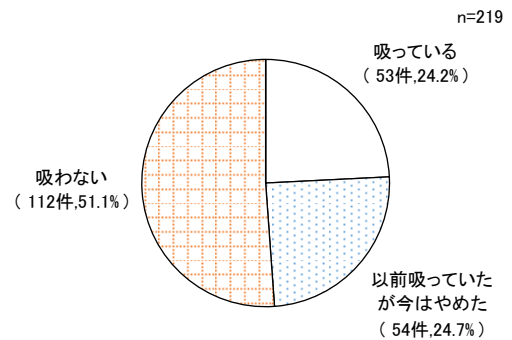


図 2-47 喫煙経験の有無(男性)

市民 問 2 7 【単独回答】

あなたはたばこを吸いますか。

回答者の喫煙経験の有無は、「吸わない」が最も多く68.8%、次いで「吸っている」が16.5%であった。

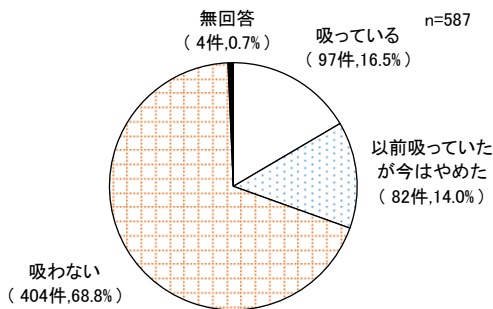


図 2-46 喫煙経験の有無

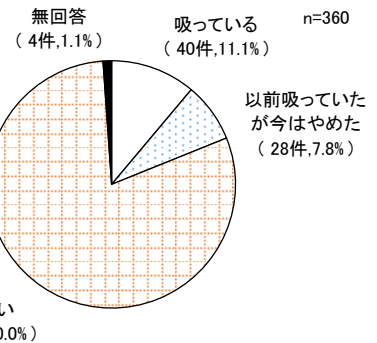
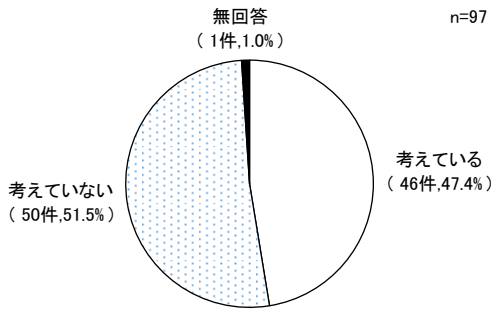


図 2-48 喫煙経験の有無(女性)

市民 問28 【単独回答】

今後禁煙したいと考えていますか。

回答者の今後の禁煙への考えは、「考えていない」が最も多く 51.5%、次いで「考えている」が 47.4%であった。



※問27で1.「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

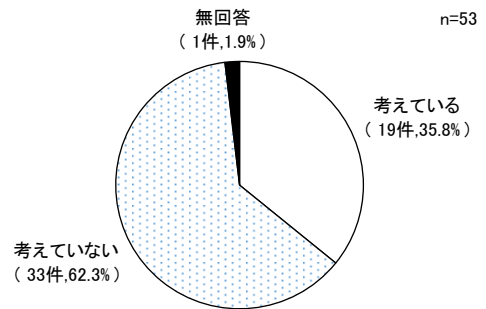
図 2-49 今後の禁煙への考え

市民 問28 【単独回答】

男女別集計結果

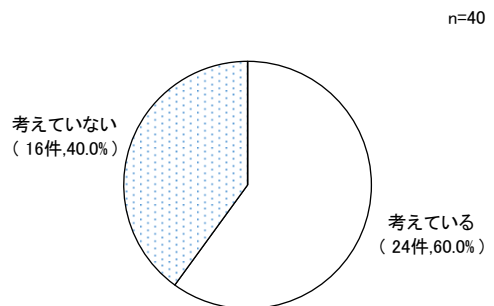
男性の今後の禁煙への考えは、「考えていない」が最も多く 62.3%、次いで「考えている」が 35.8%であった。

女性の今後の禁煙への考えは、「考えている」が最も多く 60.0%、次いで「考えていない」が 40.0%であった。



※問27で1.「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-50 今後の禁煙への考え(男性)



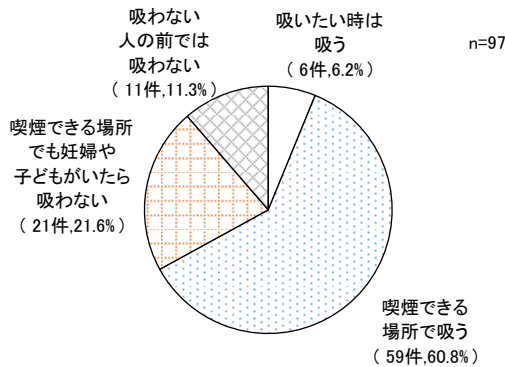
※問27で1.「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-51 今後の禁煙への考え(女性)

市民 問 2 9 【単独回答】

公共の場および職場で喫煙する場所や状況についてあてはまるものに○をしてください。(どれか一つ)

回答者の喫煙場所・状況への考えは、「喫煙できる場所で吸う」が最も多く 60.8%、次いで「喫煙できる場所でも妊婦や子どもがいたら吸わない」が 21.6%であった。



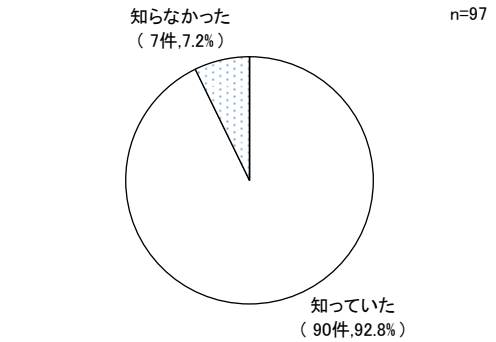
※問27で1.「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-52 喫煙場所・状況への考え

市民 問 3 1 【単独回答】

たばこを吸いたくなるのはニコチン依存症が原因であることを知っていましたか。

回答者のニコチン依存症の知名度は、「知っていた」が最も多く 92.8%、次いで「知らなかった」が 7.2%であった。



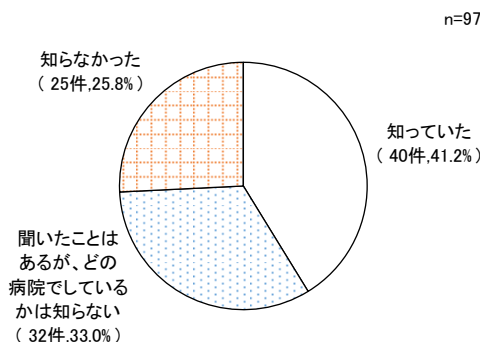
※問27で1.「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-54 ニコチン依存症の知名度

市民 問 3 0 【単独回答】

禁煙外来・禁煙治療は富田林市内の医療機関でも実施しているところがあるのを知っていましたか。

回答者の禁煙外来・禁煙治療の知名度は、「知っていた」が最も多く 41.2%、次いで「聞いたことはあるが、どの病院でしているかは知らない」が 33.0%であった。



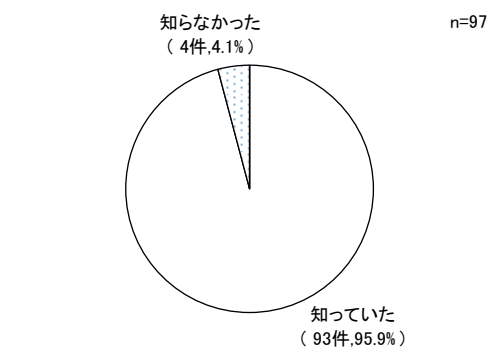
※問27で1.「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-53 禁煙外来・禁煙治療の知名度

市民 問 3 2 【単独回答】

禁煙治療にはニコチンパッチ(貼り薬)やニコチンガム、飲み薬があるのを知っていましたか。

回答者の禁煙治療の知名度は、「知っていた」が最も多く 95.9%、次いで「知らなかった」が 4.1%であった。



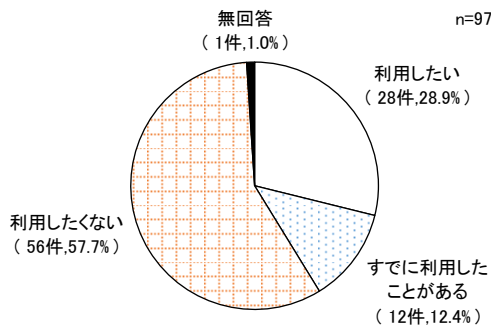
※問27で1.「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-55 禁煙治療の知名度

市民 問 3 3 【単独回答】

ニコチンパッチ（貼り薬）やニコチンガム、飲み薬を利用したいと思いますか。

回答者の禁煙治療の利用希望は、「利用したくない」が最も多く 57.7%、次いで「利用したい」が 28.9%であった。



※問27で「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-56 禁煙治療の利用希望

市民 問 3 4 【単独回答】

病院や医院、役所などの公共施設での喫煙をどう思いますか。

回答者の公共施設での喫煙への考えは、「全面禁煙の必要はなく、喫煙コーナーがあればよい」が最も多く 40.2%、次いで「建物内・敷地内全て禁煙にしてほしい」が 32.9%であった。

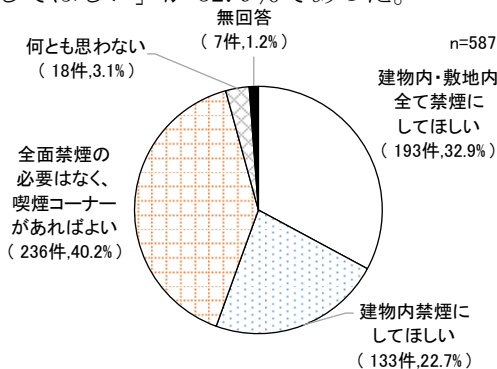


図 2-57 公共施設での喫煙への考え

市民 問 3 5 【複数回答】

たばこを吸うと下記の病気にかかりやすくなったり、健康に影響を及ぼしたりと言われています。あなたが知っているものはどれですか？ 知っているもの全てに○をしてください。

回答者の喫煙でかかりやすい病気の知名度は、「肺がん」が最も多く 95.9%、次いで「妊娠への影響（不妊、早産や低出生体重児）」が 75.6%であった。

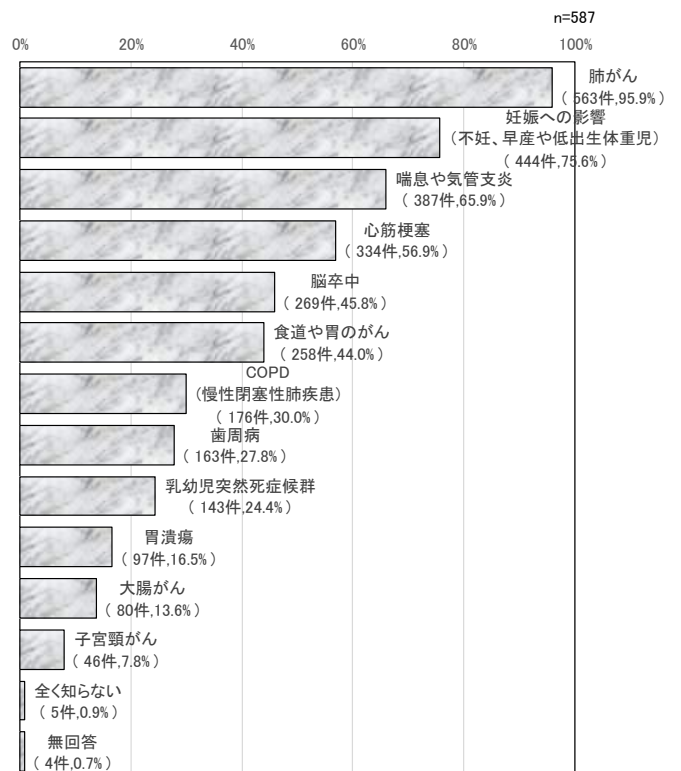


図 2-58 喫煙でかかりやすい病気の認知度

市民 問36 【単独回答】

あなたは、副流煙には主流煙よりも多く有害物質が含まれていることを知っていましたか？

回答者の副流煙の悪影響についての認知状況は、「知っていた」が最も多く 81.3%、次いで「知らなかった」が 18.4%であった。

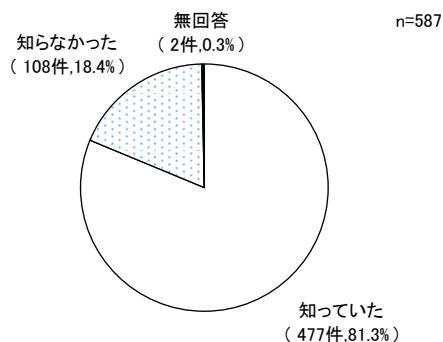


図 2-59 副流煙の悪影響についての認知状況

市民 問37 【複数回答】

受動喫煙によって、下記のような病気にかかりやすくなったり、健康に影響を及ぼしたりすると言われていています。あなたが知っているものはどれですか？知っているもの全てに○をしてください。

回答者の受動喫煙でかかりやすい病気の知名度は、「肺がん」が最も多く 88.8%、次いで「気管支喘息の悪化」が 66.6%であった。

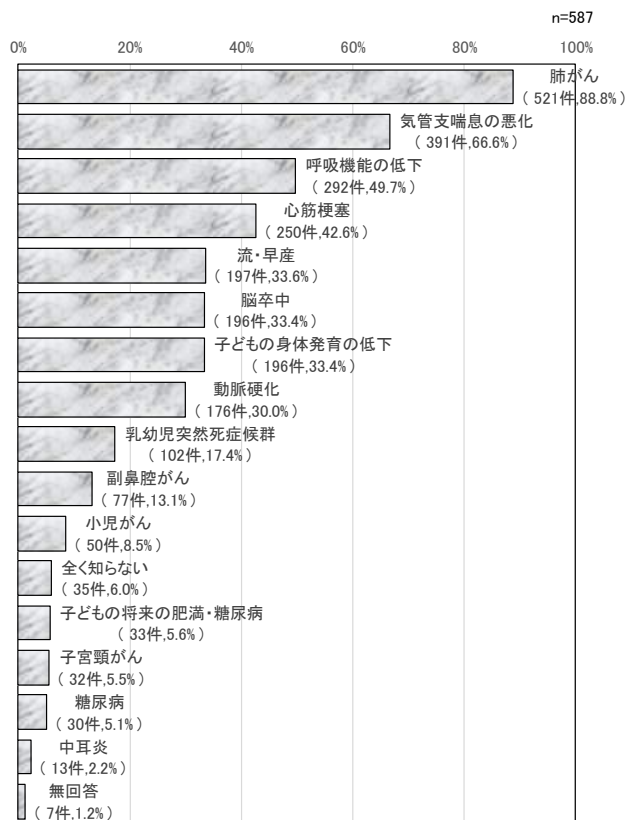


図 2-60 受動喫煙でかかりやすい病気の認知度

市民 問38 【単独回答】

日頃から日常生活の中で運動など「意識的に体を動かす」ことをしていますか。

回答者の日頃の意識的な運動の実施状況は、「行っていない」が最も多く 55.7%、次いで「行っている」が 44.0%であった。

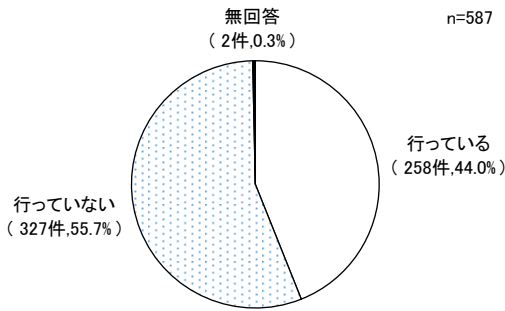


図 2-61 日頃の意識的な運動の実施状況

市民 問38 【単独回答】

男女別集計結果

男性の日頃の意識的な運動の実施状況は、「行っていない」が最も多く 55.7%、次いで「行っている」が 44.3%であった。

女性の日頃の意識的な運動の実施状況は、「行っていない」が最も多く 55.8%、次いで「行っている」が 43.6%であった。

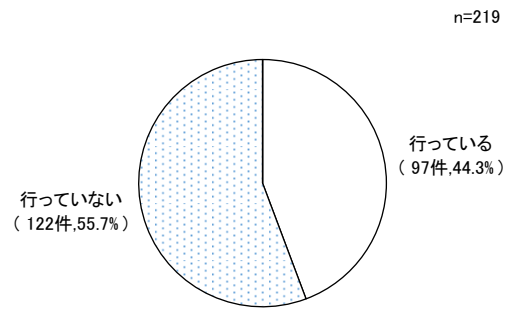


図 2-62 日頃の意識的な運動の実施状況(男性)

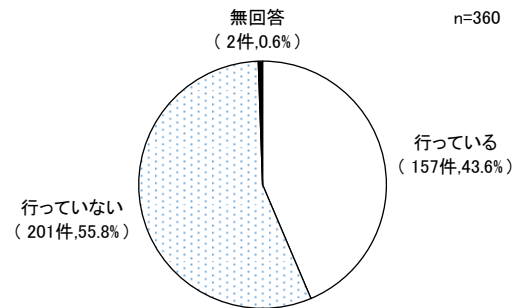


図 2-63 日頃の意識的な運動の実施状況(女性)

市民 問39 【単独回答】

1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続していますか。

回答者の運動の継続状況は、「いいえ」が最も多く74.3%、次いで「はい」が25.7%であった。

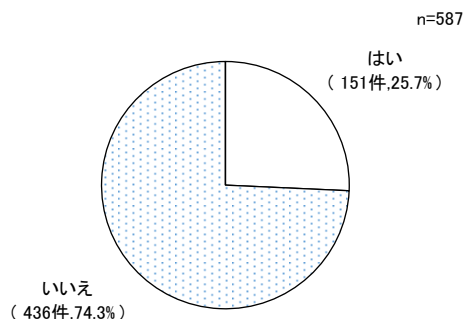


図 2-64 運動の継続状況

市民 問39 【単独回答】

男女別集計結果

男性の運動の継続状況は、「いいえ」が最も多く69.9%、次いで「はい」が30.1%であった。

女性の運動の継続状況は、「いいえ」が最も多く77.8%、次いで「はい」が22.2%であった。

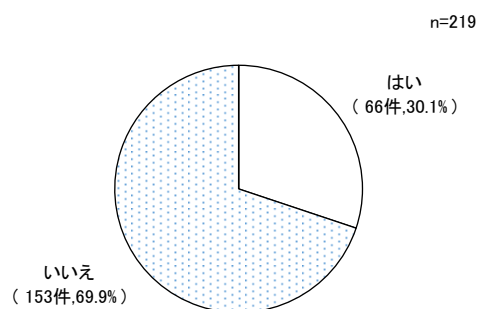


図 2-65 運動の継続状況(男性)

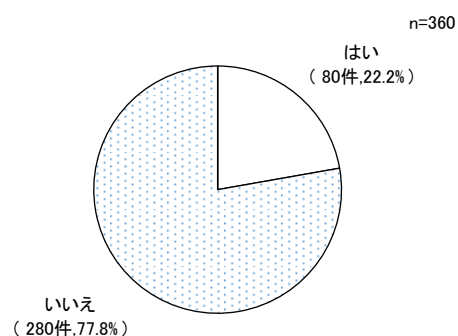


図 2-66 運動の継続状況(女性)

市民 問 4 0 【単独回答】

日頃から毎日意識的に歩くようにしていますか。

回答者の日頃の意識的な歩行の実施状況は、「いいえ」が最も多く 53.3%、次いで「はい」が 46.7% であった。

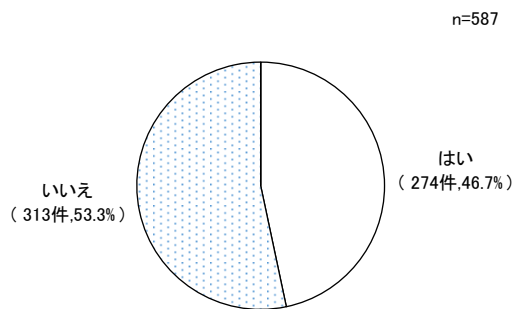


図 2-67 日頃の意識的な歩行の実施状況

市民 問 4 0 【単独回答】

男女別集計結果

男性の日頃の意識的な歩行の実施状況は、「いいえ」が最も多く 50.2%、次いで「はい」が 49.8% であった。

女性の日頃の意識的な歩行の実施状況は、「いいえ」が最も多く 55.6%、次いで「はい」が 44.4% であった。

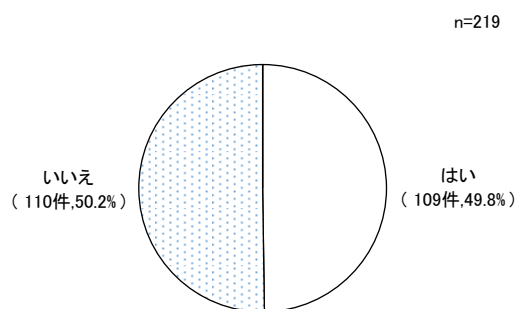


図 2-68 日頃の意識的な歩行の実施状況(男性)

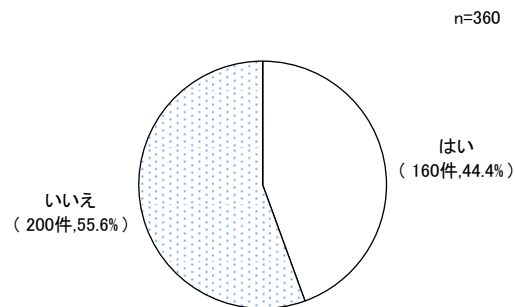


図 2-69 日頃の意識的な歩行の実施状況(女性)

市民 問 4 1 【単独回答】

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を知っていますか。

回答者のロコモティブシンドロームの知名度は、「言葉も意味も知らなかった」が最も多く 69.0%、次いで「言葉も意味も知っていた」が 19.8%であった。

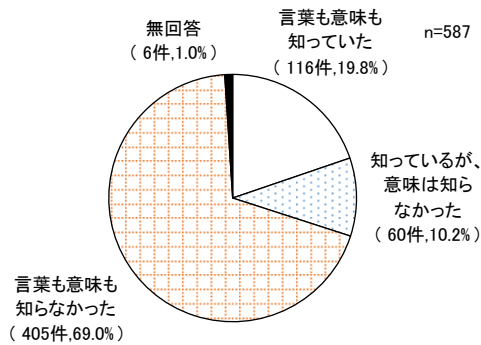


図 2-70 ロコモティブシンドロームの知名度

市民 問 4 1 【単独回答】

男女別集計結果

男性のロコモティブシンドロームの知名度は、「言葉も意味も知らなかった」が最も多く 76.7%、次いで「言葉も意味も知っていた」が 11.0%であった。

女性のロコモティブシンドロームの知名度は、「言葉も意味も知らなかった」が最も多く 63.9%、次いで「言葉も意味も知っていた」が 25.3%であった。

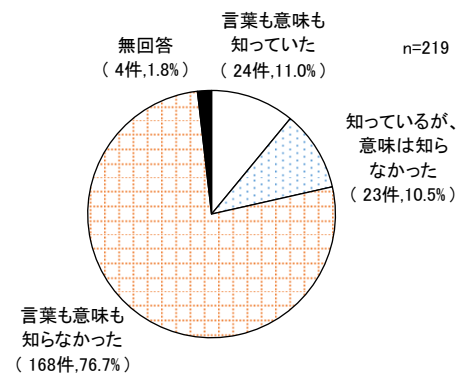


図 2-71 ロコモティブシンドロームの知名度(男性)

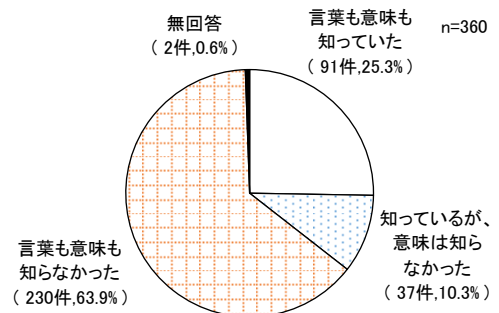


図 2-72 ロコモティブシンドロームの知名度(女性)

市民 問42 【単独回答】

現在、自分の歯は、何本ありますか。

回答者の歯の本数は、「24本以上」が最も多く69.2%、次いで「20本以上24本未満」が15.3%であった。

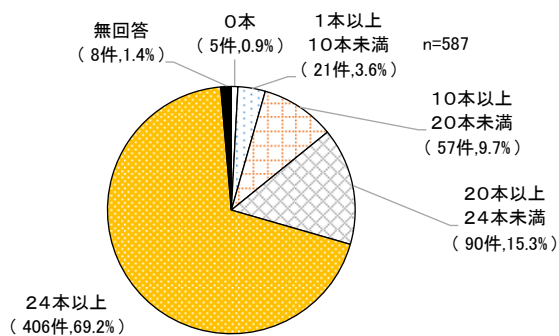


図 2-73 アンケート回答者の歯の本数

市民 問42 【単独回答】

55～64歳の集計結果

55～64歳の歯の本数は、「24本以上」が最も多く50.9%、次いで「20本以上24本未満」が21.3%であった。

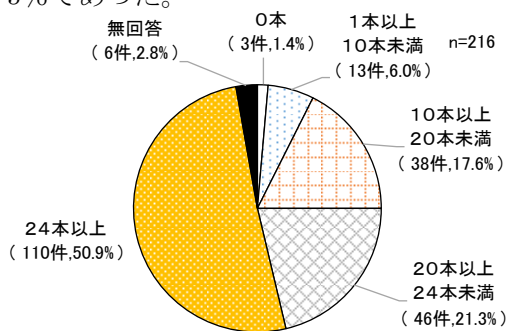


図 2-74 アンケート回答者の歯の本数(55～64歳)

市民 問 4 3 【単独回答】

普段の歯みがきについてお聞きします。歯ブラシ以外に補助的な用具（歯間ブラシ、糸ようじなど）を使用していますか。

回答者の歯の補助的用具の使用状況は、「使用していない」が最も多く 53.5%、次いで「使用している」が 45.1%であった。

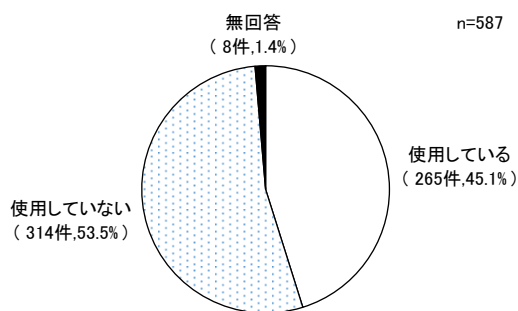


図 2-75 歯の補助的用具の使用状況

市民 問 4 3 【単独回答】

45～54 歳の集計結果

45～54 歳の歯の補助的用具の使用状況は、「使用していない」が最も多く 50.3%、次いで「使用している」が 49.0%であった。

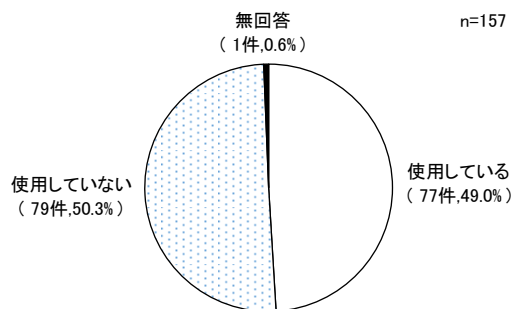


図 2-77 歯の補助的用具の使用状況(45～54 歳)

市民 問 4 3 【単独回答】

35～44 歳の集計結果

35～44 歳の歯の補助的用具の使用状況は、「使用していない」が最も多く 56.7%、次いで「使用している」が 43.3%であった。

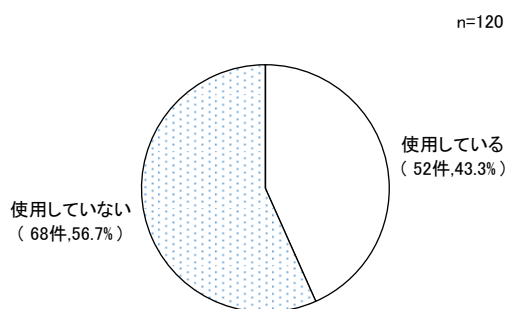


図 2-76 歯の補助的用具の使用状況(35～44 歳)

市民 問 4 4 【単独回答】

過去1年間のうち歯科医院で定期健診を受けたことがありますか。

回答者の歯科医院での定期検診の受診状況は、「受けた」が最も多く 53.2%、次いで「受けていない」が 45.8%であった。

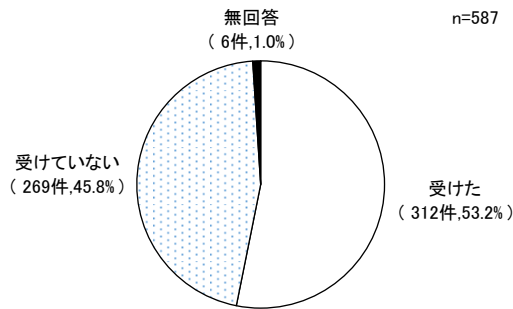


図 2-78 歯科医院での定期検診の受診状況

市民 問 4 5 【単独回答】

最近1か月の間にストレスを感じたことがありますか。

回答者の最近1か月間のストレスの有無は、「はい」が最も多く 80.9%、次いで「いいえ」が 18.1%であった。

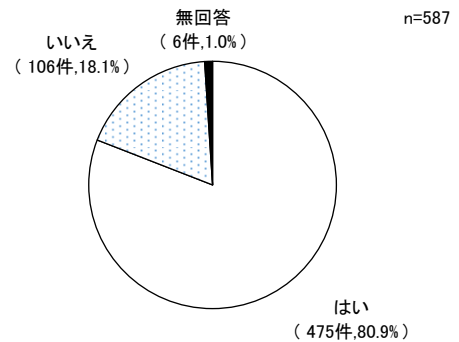


図 2-80 最近1か月間のストレスの有無

市民 問 4 4 【単独回答】

55～64歳の集計結果

55～64歳の歯科医院での定期検診の受診状況は、「受けた」が最も多く 61.6%、次いで「受けていない」が 35.6%であった。

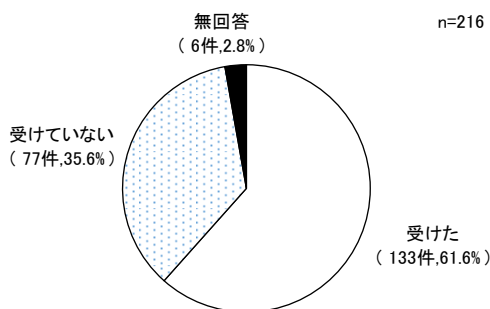
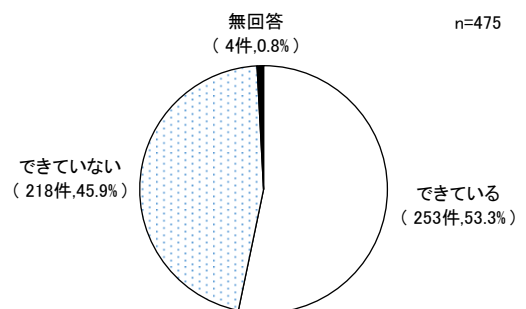


図 2-79 歯科医院での定期検診の受診状況 (55～64歳)

市民 問 4 6 【単独回答】

あなたはストレスを解消できていますか。

回答者のストレスの解消状況は、「できている」が最も多く 53.3%、次いで「できていない」が 45.9%であった。



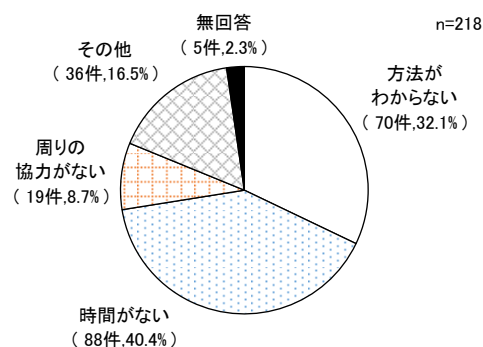
※問45で「はい」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-81 ストレスの解消状況

市民 問 4 7 【単独回答】

ストレスが解消できない理由は何ですか。

回答者のストレスが解消できない理由は、「時間がない」が最も多く 40.4%、次いで「方法がわからない」が 32.1%であった。



※問46で2.「できていない」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-82 ストレスが解消できない理由

市民 問 4 8 【単独回答】

ふだんの睡眠で、休養がとれていますか。

回答者の睡眠で休養がとれている割合は、「まあまあとれている」が最も多く 45.8%、次いで「やや不足している」が 30.8%であった。

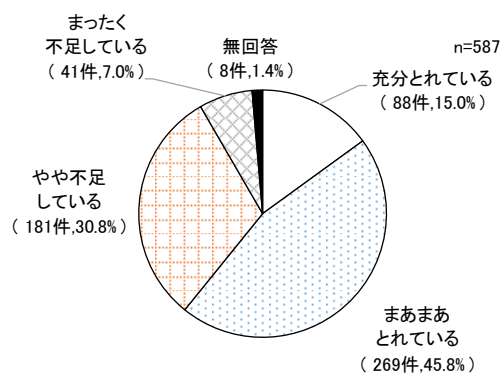


図 2-83 睡眠で休養がとれている割合

市民 問 4 9 【単独回答】

1年以内に、市や職場の健康診断や人間ドックを受けましたか。

回答者の健康診断や人間ドックの受診状況は、「受けた」が最も多く 59.1%、次いで「受けていない」が 39.9%であった。

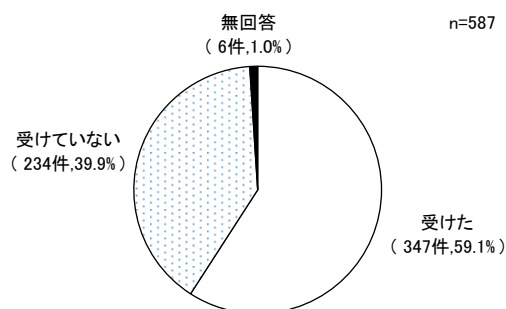


図 2-84 健康診断や人間ドックの受診状況

市民 問 4 9 【単独回答】

男女別集計結果

男性の健康診断や人間ドックの受診状況は、「受けた」が最も多く 65.3%、次いで「受けていない」が 33.3%であった。

女性の健康診断や人間ドックの受診状況は、「受けた」が最も多く 55.6%、次いで「受けていない」が 43.6%であった。

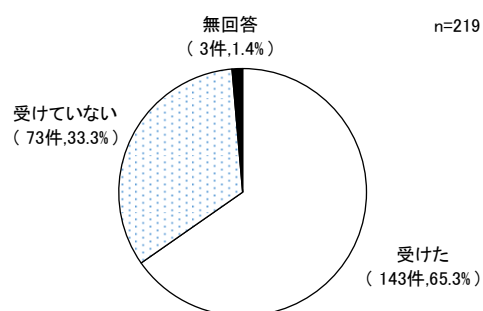


図 2-85 健康診断や人間ドックの受診状況(男性)

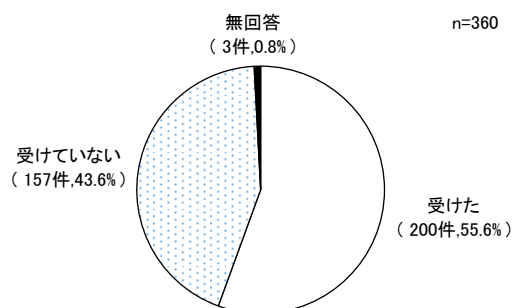


図 2-86 健康診断や人間ドックの受診状況(女性)

市民 問50 【単独回答】

1年以内に、市や職場でがん検診を受けましたか。

回答者のがん検診の受診状況は、「受けていない」が最も多く67.0%、次いで「受けた」が31.5%であった。

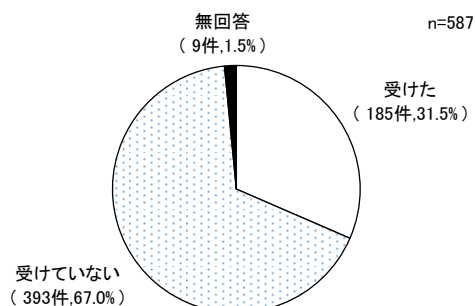
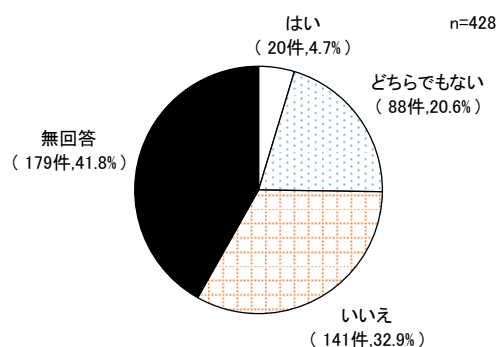


図 2-87 がん検診の受診状況

市民 問52 【単独回答】

健康診断の後、あなたの生活習慣は変わりましたか。

回答者の健康診断後の生活習慣の変化は、「いいえ」が最も多く32.9%、次いで「どちらでもない」が20.6%であった。



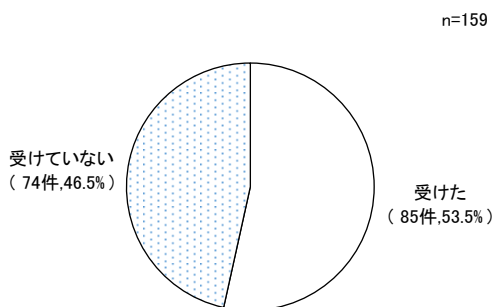
※問51に答えなかった回答者のみ集計対象とした。

図 2-89 健康診断後の生活習慣の変化

市民 問51 【単独回答】

健康診断の結果に異常のあった方にお聞きします。
(異常がなかった方は問52へ) 健康診断の後、何らかの指導を受けましたか。

回答者の健康診断後の指導を受けた割合は、「受けた」が最も多く53.5%、次いで「受けていない」が46.5%であった。



※問51に答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-88 健康診断後の指導を受けた割合

市民 問53 【単独回答】

日頃楽しめる趣味や生きがいをもっていますか。

回答者の趣味や生きがいの有無は、「はい」が最も多く70.9%、次いで「いいえ」が27.6%であった。

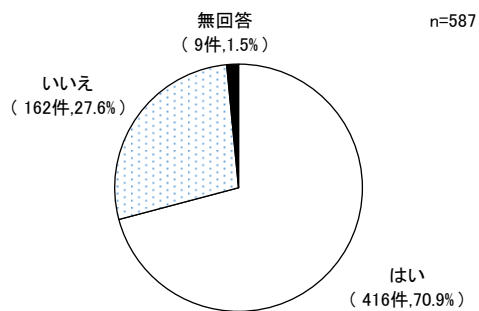


図 2-90 趣味や生きがいの有無

市民 問53 【単独回答】

男女別集計結果

男性の趣味や生きがいの有無は、「はい」が最も多く72.6%、次いで「いいえ」が26.0%であった。

女性の趣味や生きがいの有無は、「はい」が最も多く69.4%、次いで「いいえ」が28.9%であった。

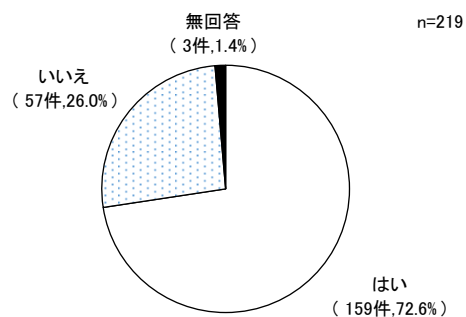


図 2-91 趣味や生きがいの有無(男性)

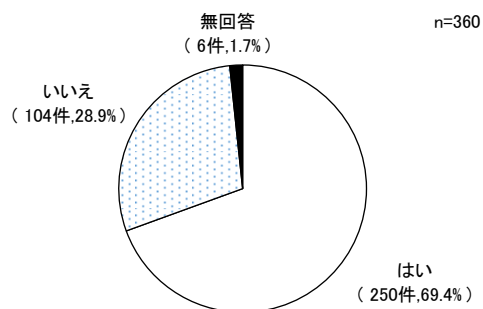


図 2-92 趣味や生きがいの有無(女性)

市民 問54 【単独回答】

趣味や生きがいを持ちたいと思いますか。

回答者の趣味や生きがいの希望は、「はい」が最も多く90.7%、次いで「いいえ」が8.0%であった。

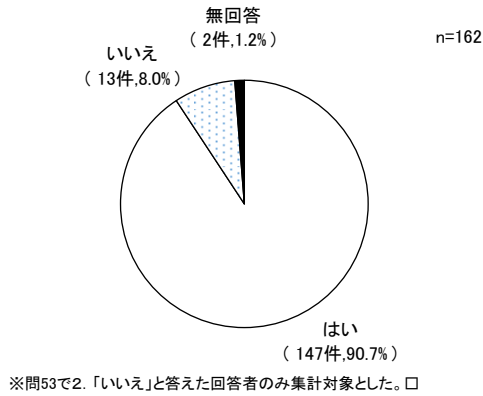


図 2-93 趣味や生きがいの希望

市民 問54 【単独回答】

男女別集計結果

男性の趣味や生きがいの希望は、「はい」が最も多く89.5%、次いで「いいえ」が8.8%であった。

女性の趣味や生きがいの希望は、「はい」が最も多く91.3%、次いで「いいえ」が7.7%であった。

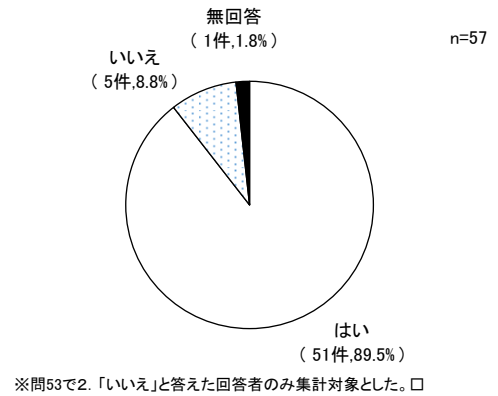


図 2-94 趣味や生きがいの希望(男性)

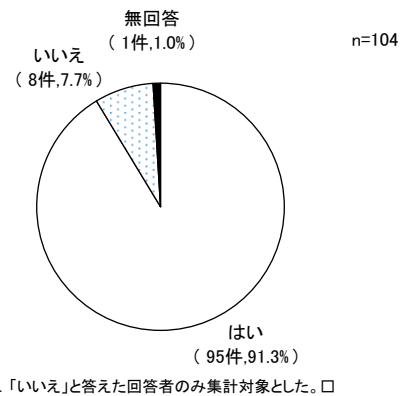


図 2-95 趣味や生きがいの希望(女性)

市民 問55 【単独回答】

仕事も含めてどれくらいの頻度で外出（買い物・散歩等も含む）しますか。

回答者の外出の頻度は、「週5回以上」が最も多く69.7%、次いで「週1～4回」が26.9%であった。

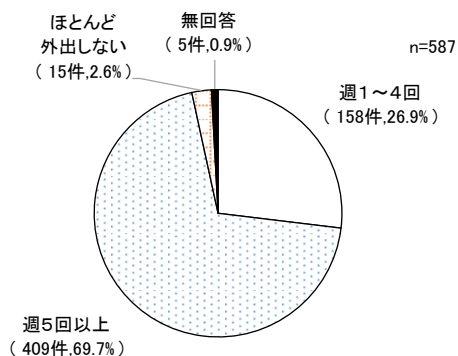


図 2-96 外出の頻度

市民 問55 【単独回答】

男女別集計結果

男性の外出の頻度は、「週5回以上」が最も多く66.7%、次いで「週1～4回」が26.5%であった。

女性の外出の頻度は、「週5回以上」が最も多く71.1%、次いで「週1～4回」が27.5%であった。

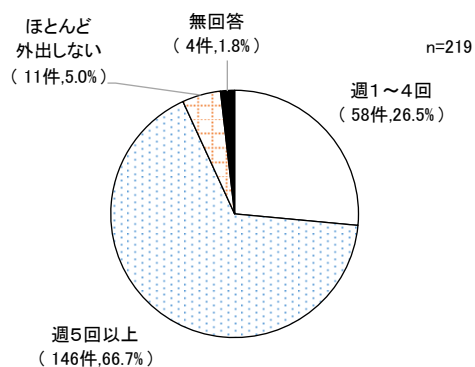


図 2-97 外出の頻度(男性)

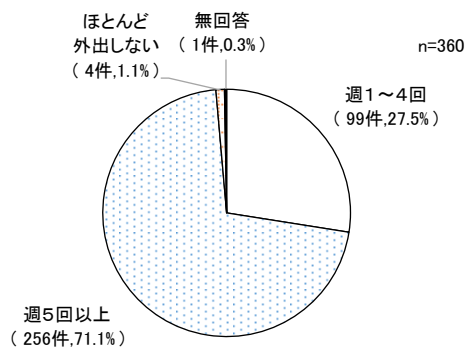


図 2-98 外出の頻度(女性)

市民 問56 【単独回答】

現在、地域活動（町内会・子ども会・老人会・PTA活動・地域のボランティア等）に参加していますか。

回答者の地域活動への参加状況は、「いいえ」が最も多く76.0%、次いで「はい」が23.3%であった。

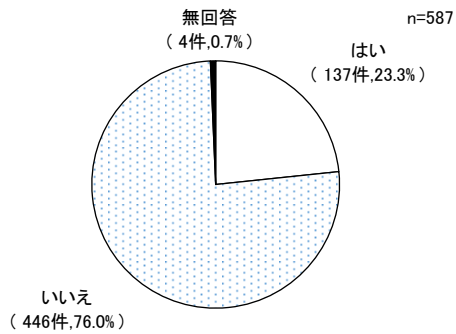


図 2-99 地域活動への参加状況

市民 問56 【単独回答】

男女別集計結果

男性の地域活動への参加状況は、「いいえ」が最も多く75.8%、次いで「はい」が22.4%であった。

女性の地域活動への参加状況は、「いいえ」が最も多く75.6%、次いで「はい」が24.4%であった。

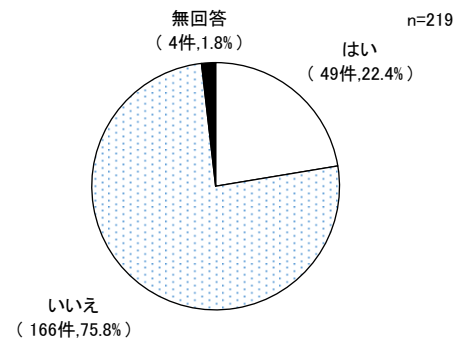


図 2-100 地域活動への参加状況(男性)

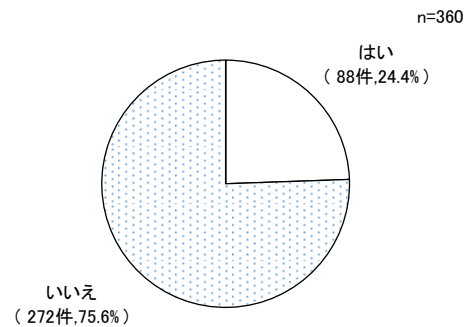


図 2-101 地域活動への参加状況(女性)

市民 問57 【単独回答】

これまでに体育館や公民館・けあばる等で開催されている講座や、保育園・幼稚園・つどいの広場等で実施されている子育て支援の場に参加したことがありますか。

回答者の講座や子育て支援への参加状況は、「いいえ」が最も多く73.8%、次いで「はい」が25.7%であった。

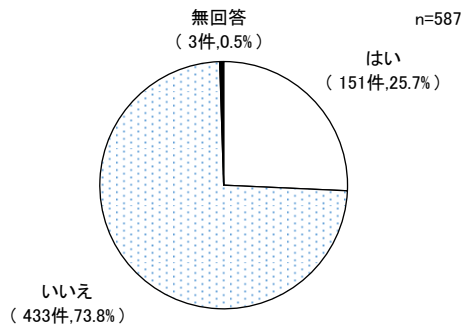


図 2-102 講座や子育て支援への参加状況

市民 問57 【単独回答】

男女別集計結果

男性の講座や子育て支援への参加状況は、「いいえ」が最も多く90.4%、次いで「はい」が8.2%であった。

女性の講座や子育て支援への参加状況は、「いいえ」が最も多く63.3%、次いで「はい」が36.7%であった。

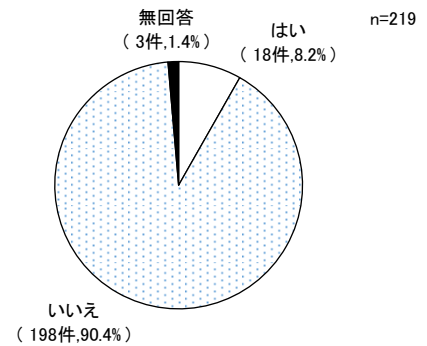


図 2-103 講座や子育て支援への参加状況(男性)

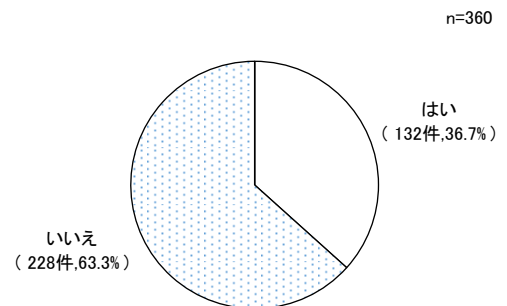


図 2-104 講座や子育て支援への参加状況(女性)

市民 問58 【単独回答】

あなたと地域の人たちとのつながりは強いと思いますか。

回答者の地域の人たちとのつながりの強さは、「弱いと思う」が最も多く 39.4%、次いで「どちらかと言えば弱いと思う」が 36.8%であった。

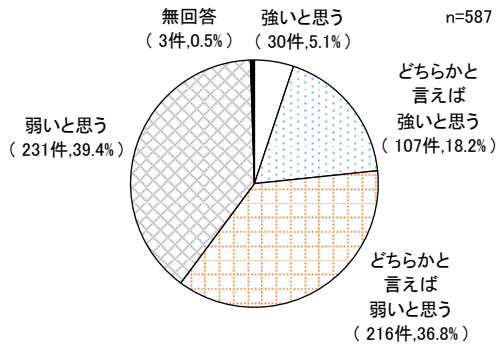


図 2-105 地域の人たちとのつながりの強さ

市民 問58 【単独回答】

男女別集計結果

男性の地域の人たちとのつながりの強さは、「弱いと思う」が最も多く 47.0%、次いで「どちらかと言えば弱いと思う」が 32.4%であった。

女性の地域の人たちとのつながりの強さは、「どちらかと言えば弱いと思う」が最も多く 39.4%、次いで「弱いと思う」が 34.2%であった。

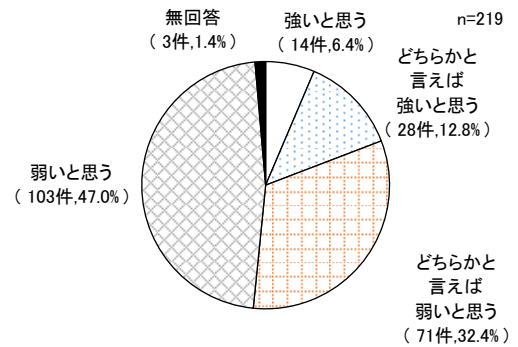


図 2-106 地域の人たちとのつながりの強さ(男性)

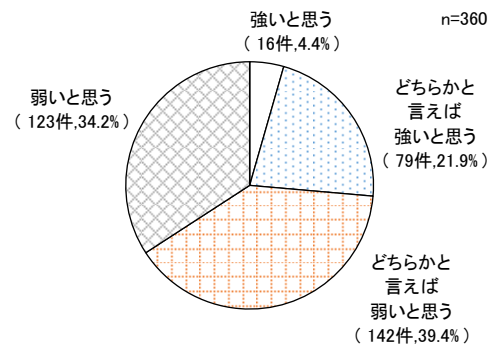


図 2-107 地域の人たちとのつながりの強さ(女性)

市民 問59 【単独回答】

日常生活を振り返ってみて、気軽に会話や相談をする人がいますか。

回答者の気軽に会話・相談する人の有無は、「はい」が最も多く89.1%、次いで「いいえ」が10.2%であった。

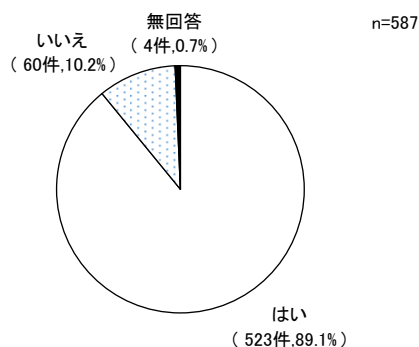


図 2-108 気軽に会話・相談する人の有無

市民 問59 【単独回答】

男女別集計結果

男性の気軽に会話・相談する人の有無は、「はい」が最も多く83.1%、次いで「いいえ」が15.5%であった。

女性の気軽に会話・相談する人の有無は、「はい」が最も多く92.8%、次いで「いいえ」が6.9%であった。

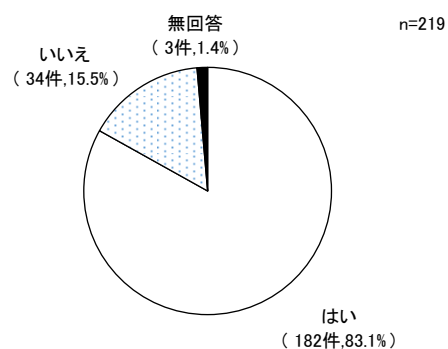


図 2-109 気軽に会話・相談する人の有無(男性)

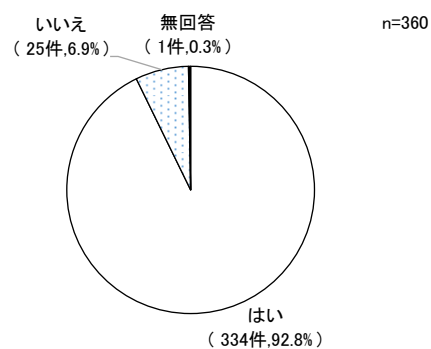
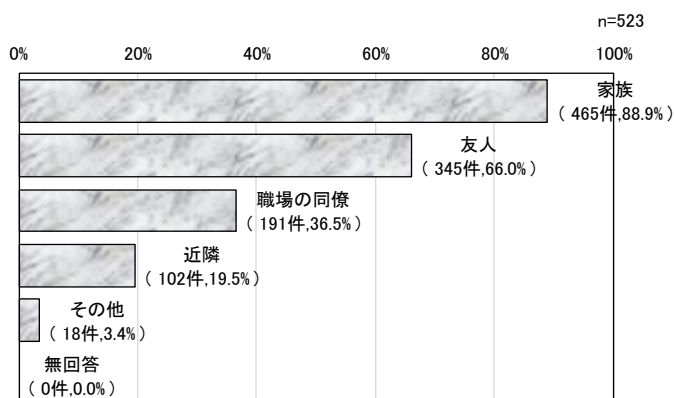


図 2-110 気軽に会話・相談する人の有無(女性)

市民 問60 【複数回答】

該当する相手を選んでください。（複数回答可）

回答者の気軽に会話・相談する相手は、「家族」が最も多く88.9%、次いで「友人」が66.0%であった。



※問59で1.「はい」と答えた回答者のみ集計対象とした。

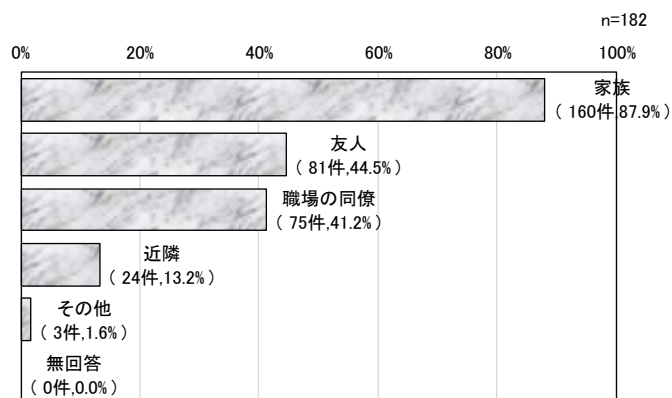
図 2-111 気軽に会話・相談する相手

市民 問60 【複数回答】

男女別集計結果

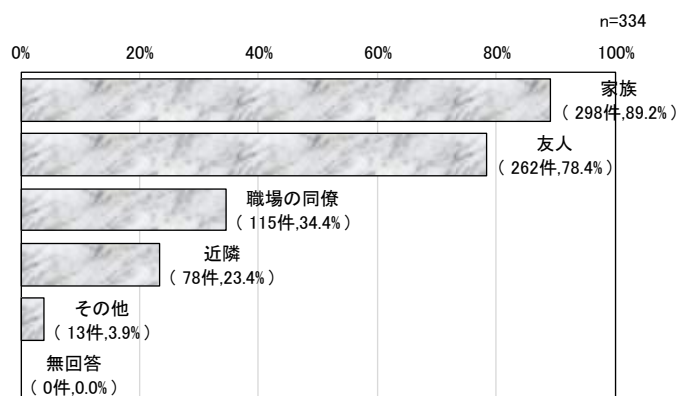
男性の気軽に会話・相談する相手は、「家族」が最も多く87.9%、次いで「友人」が44.5%であった。

女性の気軽に会話・相談する相手は、「家族」が最も多く89.2%、次いで「友人」が78.4%であった。



※問59で1.「はい」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-112 気軽に会話・相談する相手(男性)



※問59で1.「はい」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 2-113 気軽に会話・相談する相手(女性)

市民 問6 1 【単独回答】

健康づくりを推進するための学習会や自主グループ等に関心がありますか。

回答者の健康づくりの学習会や自主グループ等への関心度は、「どちらでもない」が最も多く46.8%、次いで「関心がない」が37.1%であった。

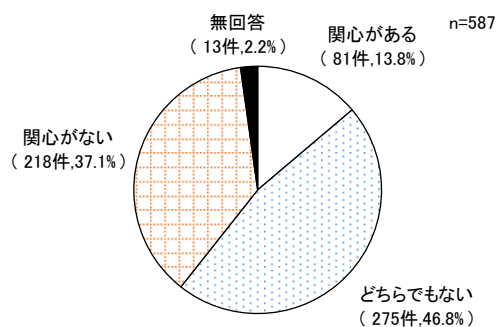


図 2-114 学習会や自主グループ等への関心度

市民 問6 1 【単独回答】

男女別集計結果

男性の健康づくりの学習会や自主グループ等への関心度は、「関心がない」が最も多く43.8%、次いで「どちらでもない」が40.6%であった。

女性の健康づくりの学習会や自主グループ等への関心度は、「どちらでもない」が最も多く50.3%、次いで「関心がない」が33.3%であった。

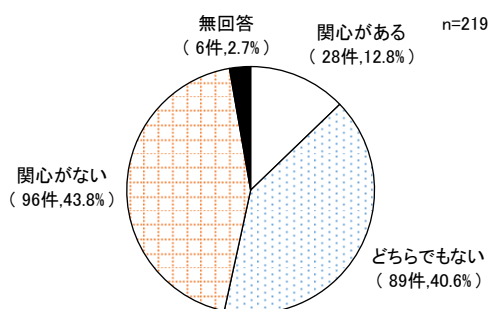


図 2-115 学習会や自主グループ等への関心度(男性)

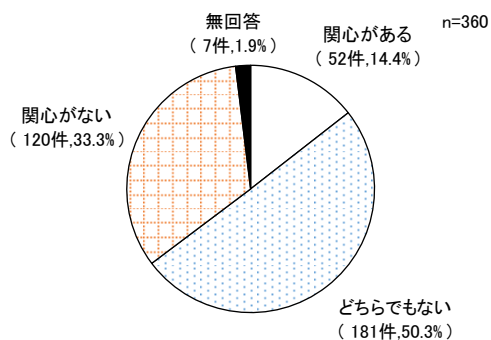


図 2-116 学習会や自主グループ等への関心度(女性)

3. 中学生用アンケート

中学生 問1 【単独回答】

あなたの性別を教えてください。

回答者の性別は、「女性」が49.7%、「男性」が46.7%であった。

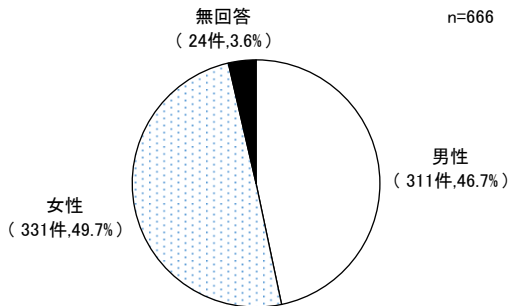


図 3-1 アンケート回答者の性別

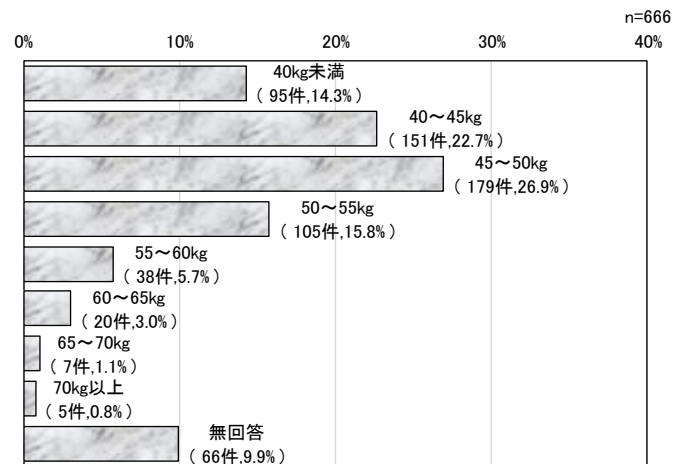


図 3-3 アンケート回答者の体重分布

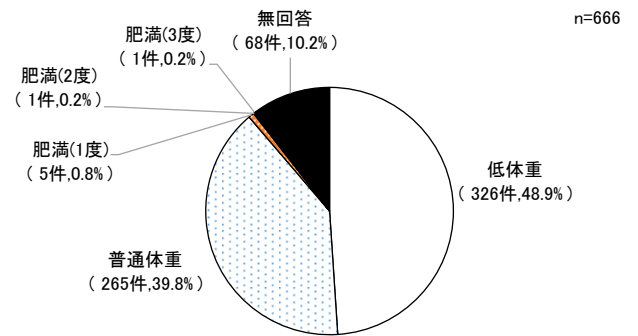
中学生 問2 【記述】

あなたの身長と体重をご記入ください。
(小数点第1位まで)

回答者の身長分布は、「155～160cm」が最も多く28.5%、次いで「150～155cm」が21.6%であった。

体重分布は、「45～50kg」が最も多く26.9%、次いで「40～45kg」が22.7%であった。

BMI分布は、「低体重」が最も多く48.9%、次いで「普通体重」が39.8%であった。



※身長と体重を記述した回答者のみBMIを算出した。

図 3-4 アンケート回答者のBMI分布

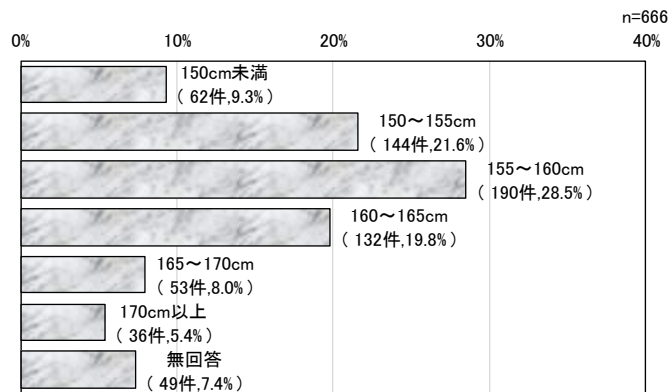


図 3-2 アンケート回答者の身長分布

中学生 問2 【記述】

男女別集計結果

男性の身長分布は、「155～160cm」が最も多く23.2%、次いで「160～165cm」が22.8%であった。

女性の身長分布は、「155～160cm」が最も多く35.3%、次いで「150～155cm」が32.0%であった。

男性の体重分布は、「45～50kg」が最も多く24.1%、次いで「40～45kg」が20.3%であった。

女性の体重分布は、「45～50kg」が最も多く31.1%、次いで「40～45kg」が26.3%であった。

男性のBMI分布は、「低体重」が最も多く56.6%、次いで「普通体重」が37.0%であった。

女性のBMI分布は、「普通体重」が最も多く45.3%、次いで「低体重」が44.4%であった。

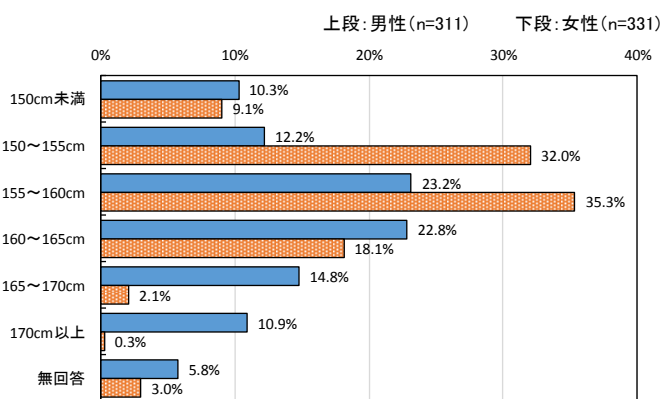


図 3-5 アンケート回答者の身長分布(男女別)

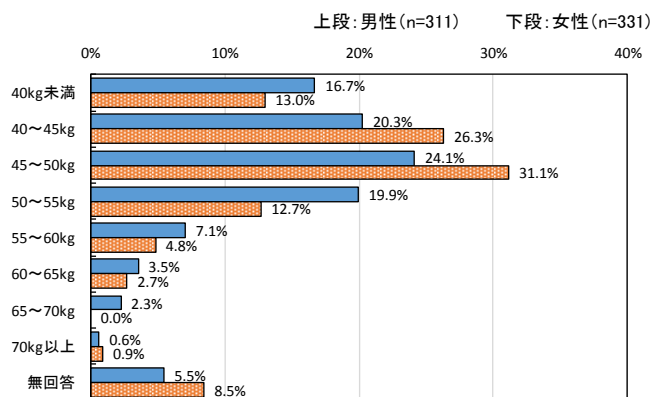
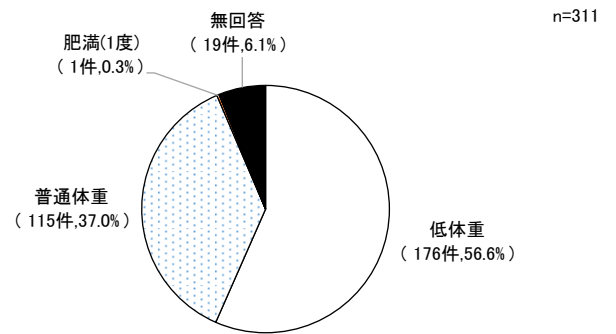
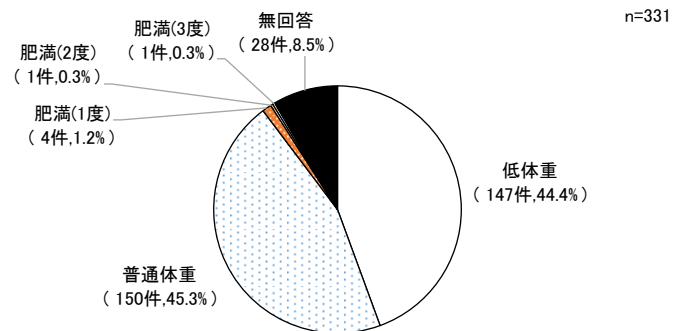


図 3-6 アンケート回答者の体重分布(男女別)



※身長と体重を記述した回答者のみBMIを算出した。

図 3-7 アンケート回答者のBMI分布(男性)



※身長と体重を記述した回答者のみBMIを算出した。

図 3-8 アンケート回答者のBMI分布(女性)

中学生 問3 【記述】

あなたが理想と思う体重をご記入ください。
(小数点第1位まで)

回答者の理想とする体重は、「45～50kg」が最も多く27.9%、次いで「40～45kg」が27.0%であった。

また理想とする体重のBMIは、「低体重」が最も多く52.4%、次いで「普通体重」が35.3%であった。

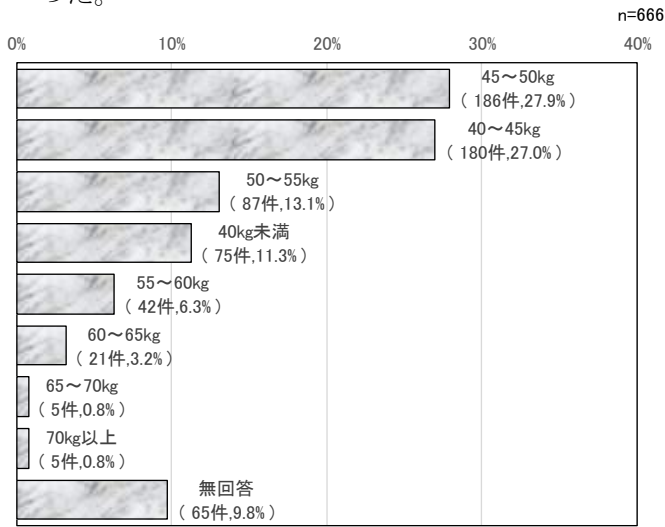
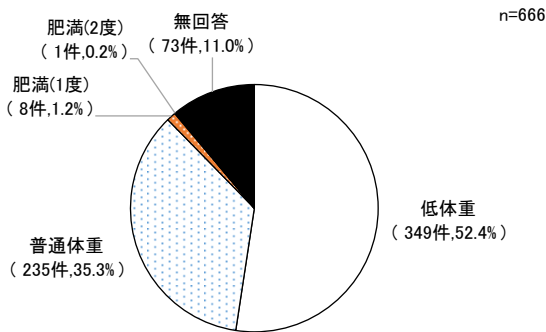


図 3-9 アンケート回答者が理想とする体重



※身長と理想体重を記述した回答者のみBMIを算出した。

図 3-10 アンケート回答者が理想とする体重のBMI

中学生 問4 【単独回答】

あなたは、標準体型だと思いますか。

回答者の標準体型だと思う割合は、「標準体型だと思う」が最も多く39.3%、次いで「太っていると思う」が21.6%であった。

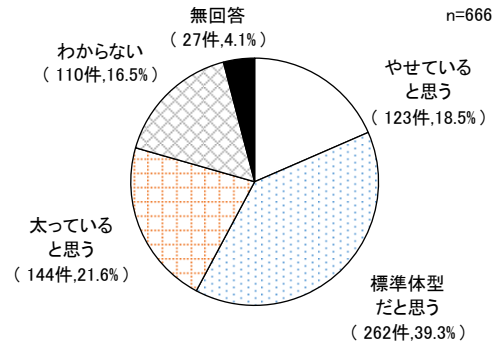


図 3-11 標準体型だと思う割合

中学生 問5 【単独回答】

あなたは「食育」という言葉を知っていましたか。

回答者の「食育」という語の知名度は、「言葉は知っているが、意味は知らなかった」が最も多く46.8%、次いで「言葉も意味も知らなかった」が25.5%であった。

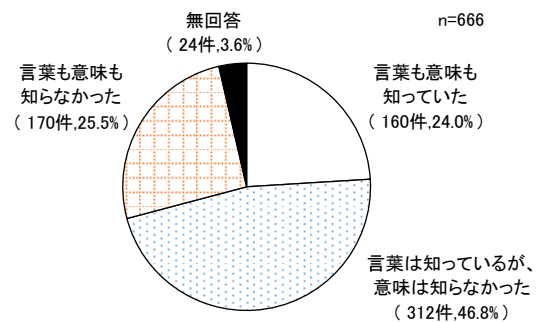


図 3-12 「食育」という語の知名度

中学生 問6 【単独回答】

あなたは食育に関心がありますか。

回答者の「食育」への関心は、「どちらかといえば関心がある」が最も多く 36.5%、次いで「どちらかといえば関心がない」が 23.6%であった。

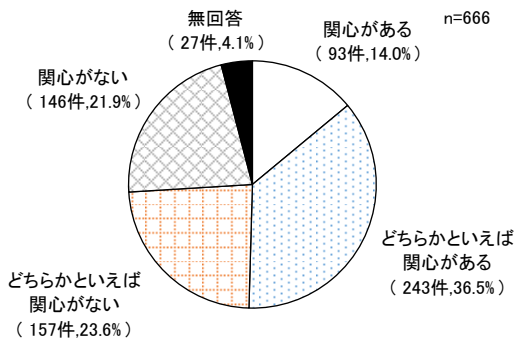


図 3-13 「食育」への関心

中学生 問7 【単独回答】

男女別集計結果

男性の朝食を食べる頻度は、「毎日食べる」が最も多く 84.2%、次いで「ほぼ毎日食べる」が 9.0%であった。

女性の朝食を食べる頻度は、「毎日食べる」が最も多く 82.5%、次いで「ほぼ毎日食べる」が 11.2%であった。

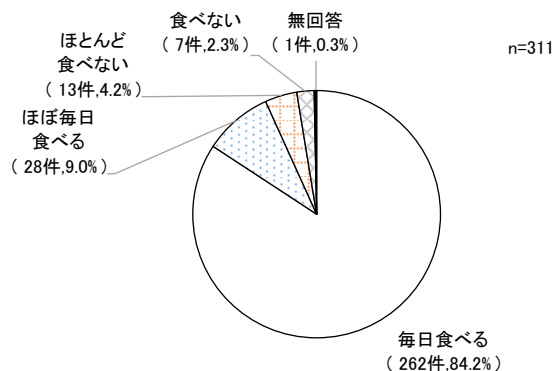


図 3-15 朝食を食べる頻度(男性)

中学生 問7 【単独回答】

あなたはふだん朝食を食べていますか。

回答者の朝食を食べる頻度は、「毎日食べる」が最も多く 80.6%、次いで「ほぼ毎日食べる」が 9.8%であった。

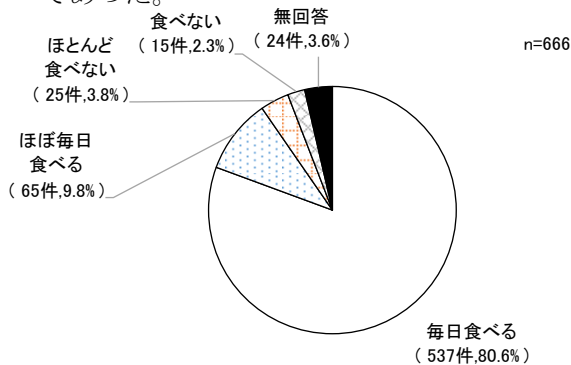


図 3-14 朝食を食べる頻度

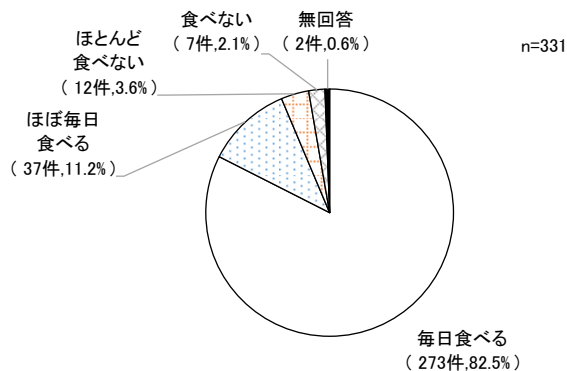
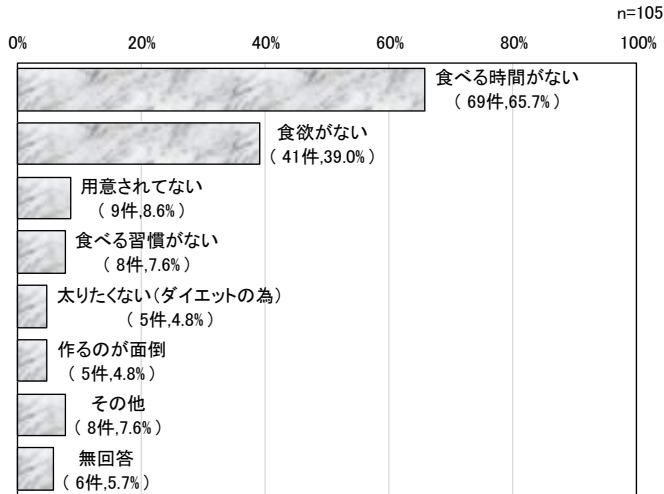


図 3-16 朝食を食べる頻度(女性)

中学生 問8 【複数回答】

朝食を食べない日がある理由は何ですか？
(複数回答可)

回答者の朝食を食べない理由は、「食べる時間がない」が最も多く 65.7%、次いで「食欲がない」が 39.0%であった。



※問7で2、3、4と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-17 朝食を食べない理由

中学生 問10 【単独回答】

朝食や夕食についてあなたは普段、家族の誰かと一緒に食べることはどのくらいありますか。

回答者の食事を誰かと一緒にとる頻度は、「毎日食べる」が最も多く 58.3%、次いで「ほぼ毎日食べる」が 32.0%であった。

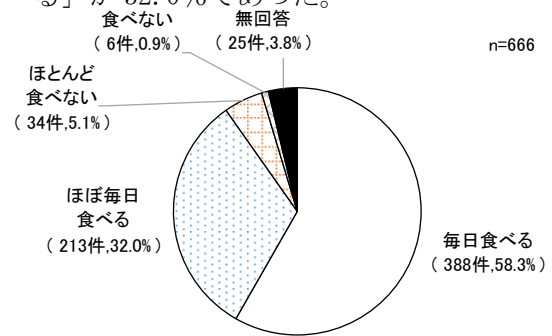


図 3-19 食事を誰かと一緒にとる頻度

中学生 問9 【単独回答】

あなたは普段どれくらい野菜(野菜ジュース、漬物を除く)を食べていますか。

回答者の野菜を食べる頻度は、「毎日、1~2回食べる」が最も多く 53.9%、次いで「毎日、3食とも食べる」が 25.4%であった。

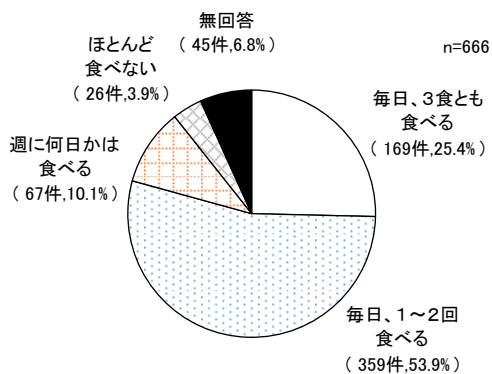


図 3-18 野菜を食べる頻度

中学生 問11 【複数回答】

以下は富田林市の農産物です。あなたは富田林市の農産物を知っていますか？知っているものすべてに○をつけてください。

回答者の富田林市の農産物の認知度は、「大阪なす」が最も多く 76.6%、次いで「大阪きゅうり」が 29.4%であった。

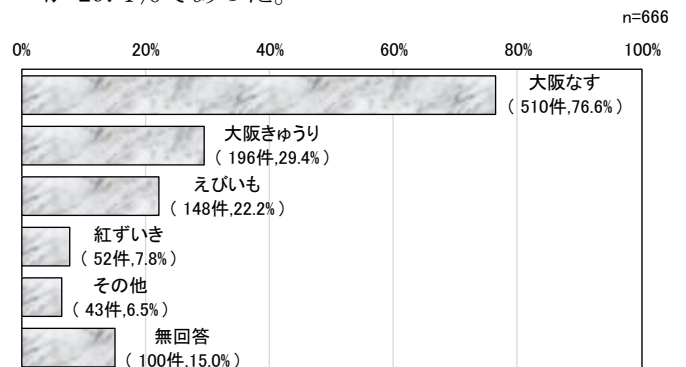


図 3-20 富田林市の農産物の認知度

中学生 問12 【複数回答】

あなたは自分で食事を選ぶときに気をつけていることはありますか？（当てはまるものすべてに○をつけてください）

回答者の食事を選ぶときの注意点は、「好きなものを選ぶ」が最も多く47.0%、次いで「値段」が38.0%であった。

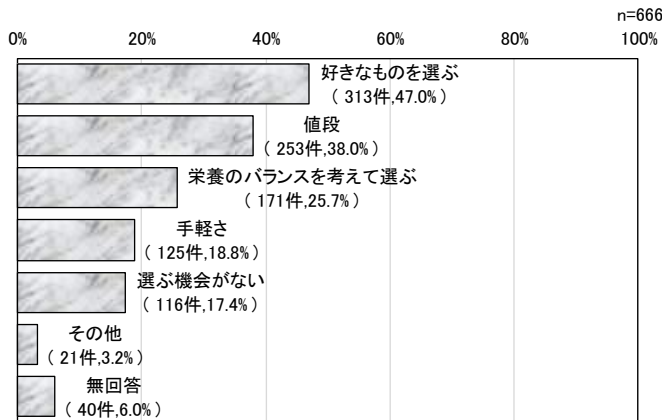


図 3-21 食事を選ぶときの注意点

中学生 問13 【単独回答】

あなたは、未成年の飲酒が法律で禁止されていることを知っていますか。

回答者の未成年の飲酒禁止を知っている割合は、「はい」が最も多く94.7%、次いで「いいえ」が1.8%であった。

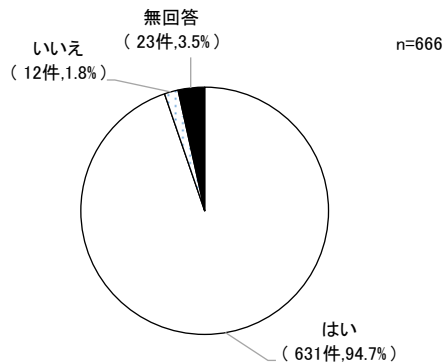


図 3-22 未成年の飲酒禁止を知っている割合

中学生 問13 【単独回答】

男女別集計結果

男性の未成年の飲酒禁止を知っている割合は、「はい」が最も多く97.1%、次いで「いいえ」が2.6%であった。

女性の未成年の飲酒禁止を知っている割合は、「はい」が最も多く98.5%、次いで「いいえ」が1.2%であった。

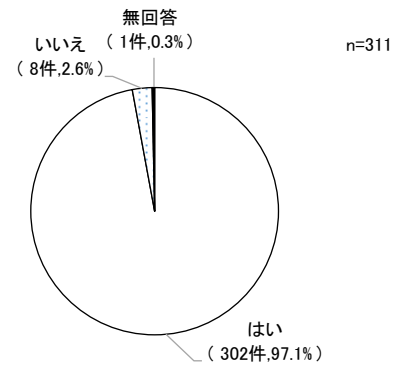


図 3-23 未成年の飲酒禁止を知っている割合(男性)

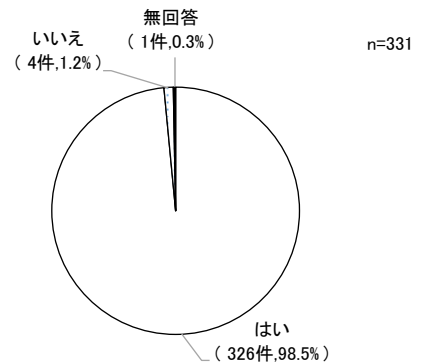


図 3-24 未成年の飲酒禁止を知っている割合(女性)

中学生 問14 【単独回答】

あなたは、これまでにアルコール類（ビール、ワイン、焼酎、ウイスキー、日本酒など）を飲んでしまったことがありますか。

回答者の飲酒経験の有無は、「いいえ」が最も多く76.9%、次いで「はい」が19.1%であった。

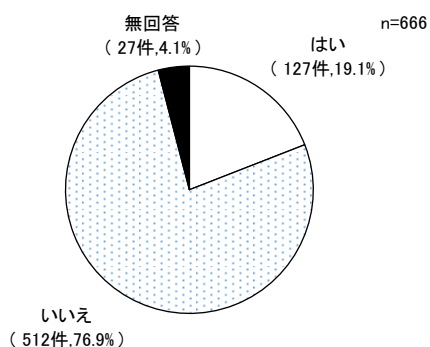


図 3-25 飲酒経験の有無

中学生 問14 【単独回答】

男女別集計結果

男性の飲酒経験の有無は、「いいえ」が最も多く78.5%、次いで「はい」が20.9%であった。

女性の飲酒経験の有無は、「いいえ」が最も多く80.1%、次いで「はい」が18.7%であった。

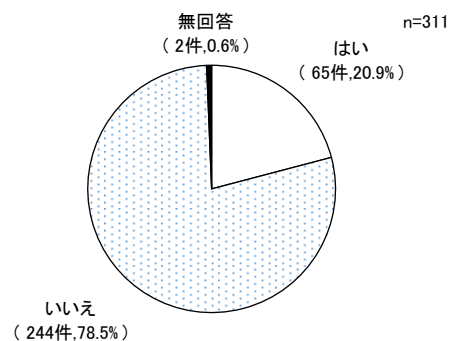


図 3-26 飲酒経験の有無(男性)

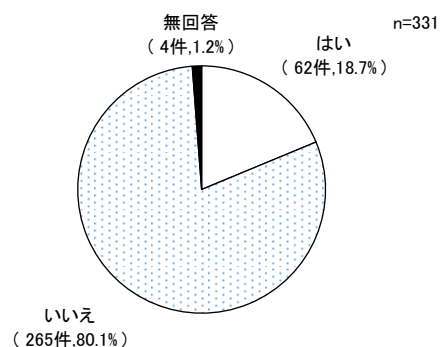
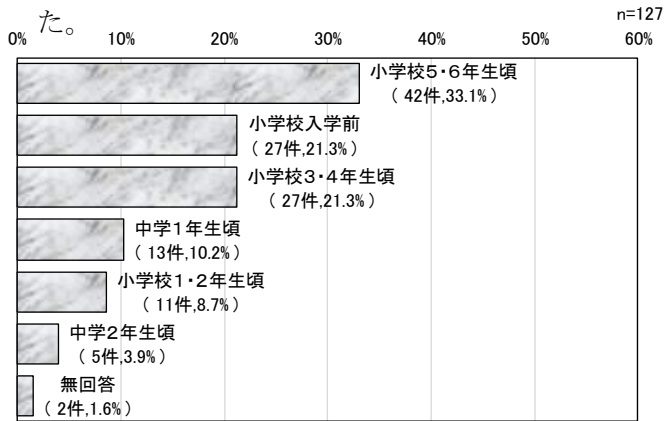


図 3-27 飲酒経験の有無(女性)

中学生 問15 【単独回答】

はじめて飲んでしまったのはいつですか。

回答者のはじめて飲酒した時期は、「小学校5・6年生頃」が最も多く33.1%、次いで「小学校入学前」と「小学校3・4年生頃」が21.3%であった。



※問14で1.「はい」と答えた回答者のみ集計対象とした。

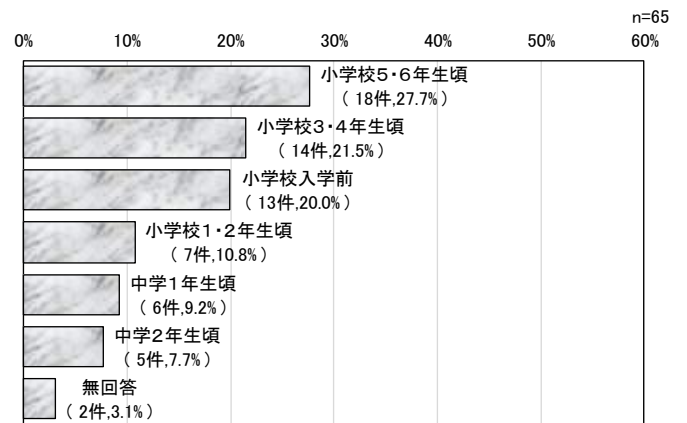
図 3-28 はじめて飲酒した時期

中学生 問15 【単独回答】

男女別集計結果

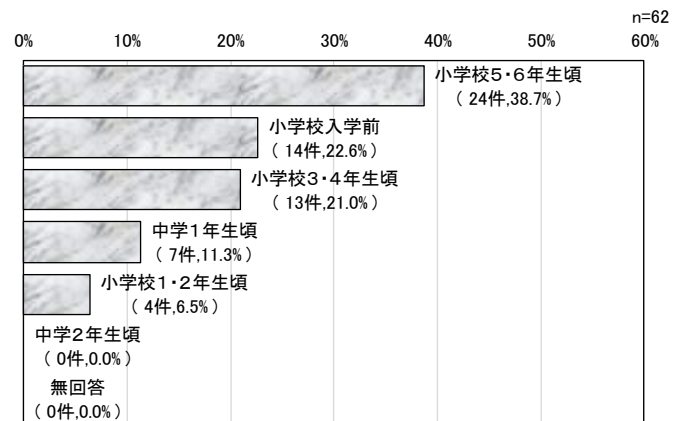
男性のはじめて飲酒した時期は、「小学校5・6年生頃」が最も多く27.7%、次いで「小学校3・4年生頃」が21.5%であった。

女性のはじめて飲酒した時期は、「小学校5・6年生頃」が最も多く38.7%、次いで「小学校入学前」が22.6%であった。



※問14で1.「はい」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-29 はじめて飲酒した時期(男性)



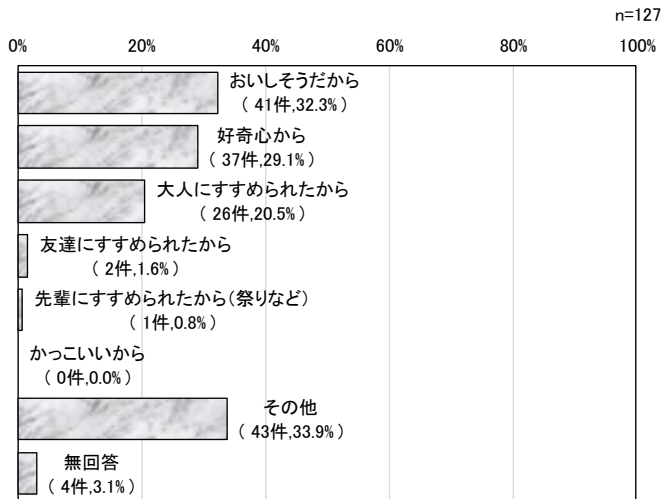
※問14で1.「はい」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-30 はじめて飲酒した時期(女性)

中学生 問16 【複数回答】

そのきっかけは何ですか。(複数回答可)

回答者の飲酒のきっかけは、「おいしそうだから」が最も多く 32.3%、次いで「好奇心から」が 29.1%であった。



※問14で1.「はい」と答えた回答者のみ集計対象とした。

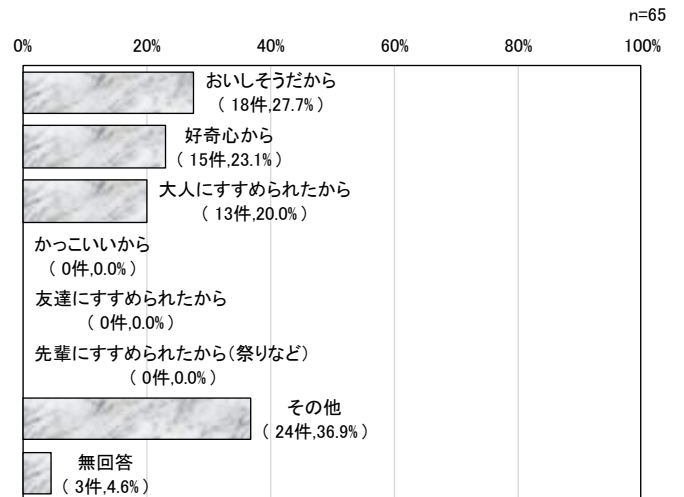
図 3-31 飲酒のきっかけ

中学生 問16 【複数回答】

男女別集計結果

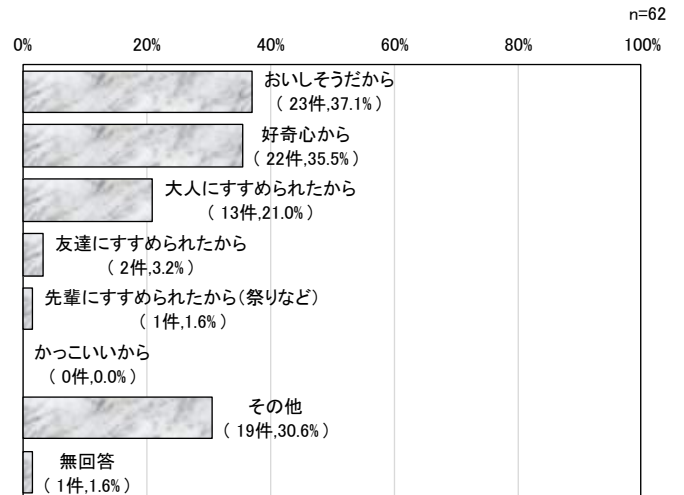
男性の飲酒のきっかけは、「おいしそうだから」が最も多く 27.7%、次いで「好奇心から」が 23.1%であった。

女性の飲酒のきっかけは、「おいしそうだから」が最も多く 37.1%、次いで「好奇心から」が 35.5%であった。



※問14で1.「はい」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-32 飲酒のきっかけ(男性)



※問14で1.「はい」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-33 飲酒のきっかけ(女性)

中学生 問17 【複数回答】

中学生や高校生がアルコール類を飲むことについてどう思いますか。(複数回答可)

回答者の中高生の飲酒行為に対する考えは、「法律で禁止されているから良くない」が最も多く67.0%、次いで「健康への害があるので良くない」が65.5%であった。

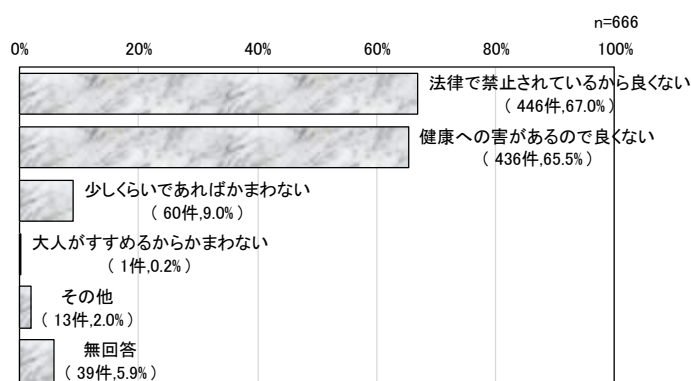


図 3-34 中高生の飲酒行為に対する考え

中学生 問18 【単独回答】

男女別集計結果

男性の未成年の喫煙禁止を知っている割合は、「はい」が最も多く 95.5%、次いで「いいえ」が 4.5%であった。

女性の未成年の喫煙禁止を知っている割合は、「はい」が最も多く 98.2%、次いで「いいえ」が 1.5%であった。

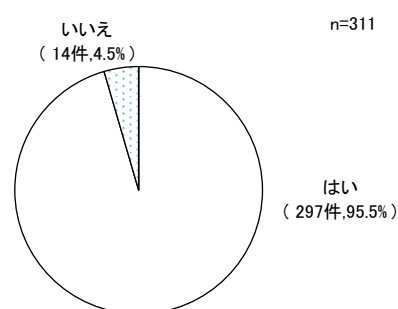


図 3-36 未成年の喫煙禁止を知っている割合(男性)

中学生 問18 【単独回答】

あなたは、未成年の喫煙が法律で禁止されていることを知っていますか。

回答者の未成年の喫煙禁止を知っている割合は、「はい」が最も多く 93.8%、次いで「いいえ」が 2.9%であった。

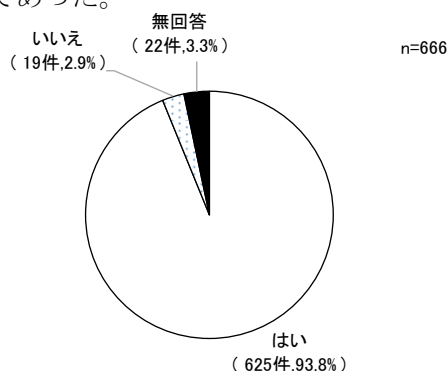


図 3-35 未成年の喫煙禁止を知っている割合

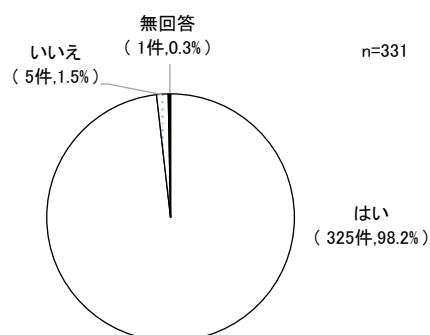


図 3-37 未成年の喫煙禁止を知っている割合(女性)

中学生 問19 【単独回答】

あなたはこれまでにタバコを吸ってしまったことがありますか。

回答者の喫煙経験の有無は、「1回も吸ったことがない」が最も多く 93.2%、次いで「以前吸ったことがあるがその後は吸っていない」が 1.7%であった。

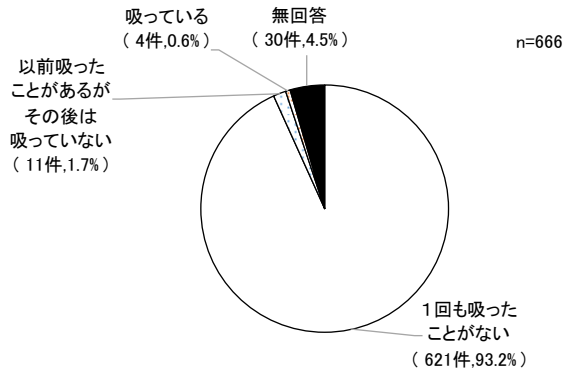


図 3-38 喫煙経験の有無

中学生 問19 【単独回答】

男女別集計結果

男性の喫煙経験の有無は、「1回も吸ったことがない」が最も多く 95.5%、次いで「以前吸ったことがあるがその後は吸っていない」が 2.3%であった。

女性の喫煙経験の有無は、「1回も吸ったことがない」が最も多く 97.0%、次いで「以前吸ったことがあるがその後は吸っていない」が 1.2%であった。

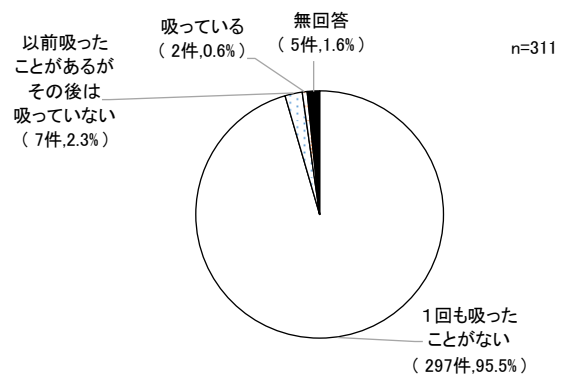


図 3-39 喫煙経験の有無(男性)

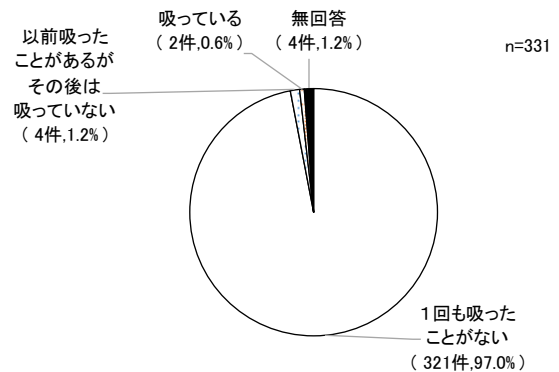
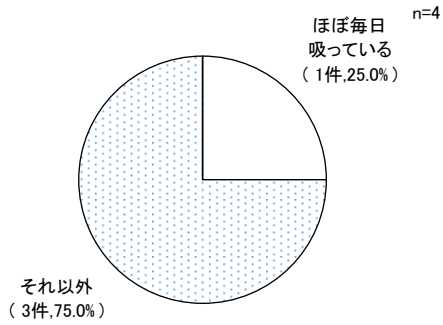


図 3-40 喫煙経験の有無(女性)

中学生 問20 【単独回答】

どの程度吸ってしまっていますか。

回答者の喫煙の頻度は、「それ以外」が最も多く75.0%、次いで「ほぼ毎日吸っている」が25.0%であった。



※問19で3.「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

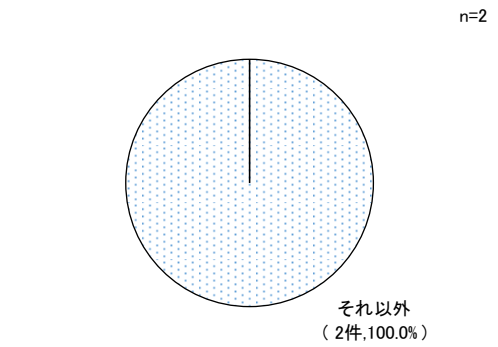
図 3-41 喫煙の頻度

中学生 問20 【単独回答】

男女別集計結果

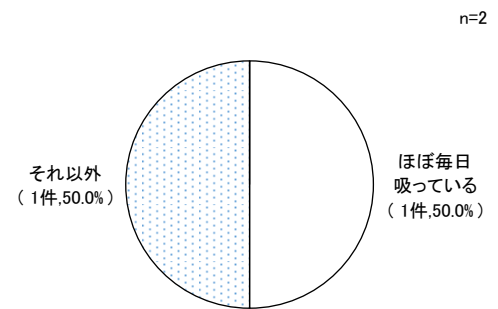
男性の喫煙の頻度は、「それ以外」が最も多く100.0%であった。

女性の喫煙の頻度は、「それ以外」と「ほぼ毎日吸っている」が最も多く50.0%であった。



※問19で3.「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-42 喫煙の頻度(男性)



※問19で3.「吸っている」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-43 喫煙の頻度(女性)

中学生 問21 【単独回答】

あなたはたばこをやめたいと思いますか。

回答者の喫煙に対する意向は、「やめたいと思わない」が最も多く 50.0%、次いで「やめたいと思う」が 25.0%であった。

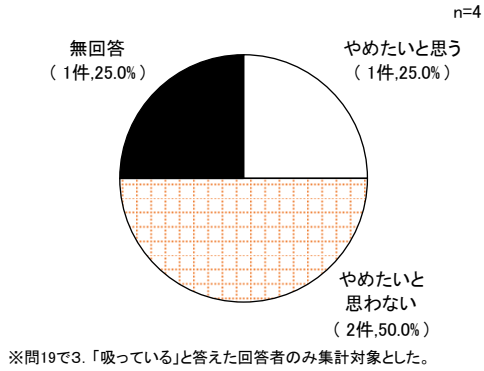


図 3-44 喫煙に対する意向

中学生 問21 【単独回答】

男女別集計結果

男性の喫煙に対する意向は、「やめたいと思わない」が最も多く 100.0%であった。

女性の喫煙に対する意向は、「やめたいと思う」が最も多く 50.0%であった。

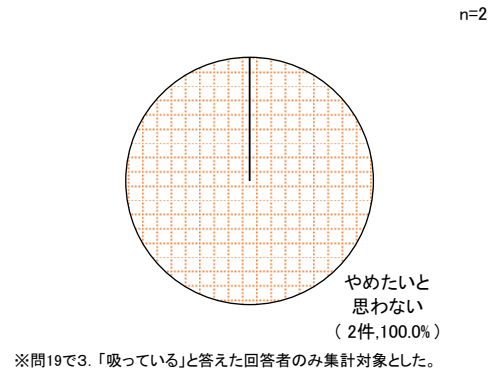


図 3-45 喫煙に対する意向(男性)

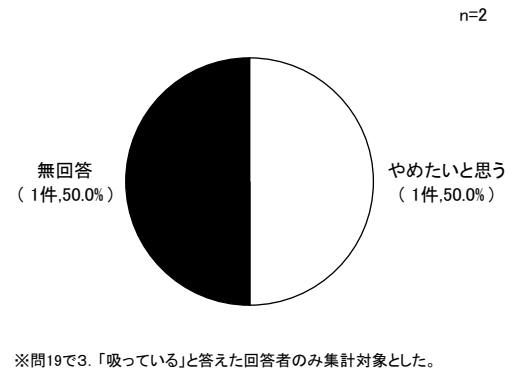
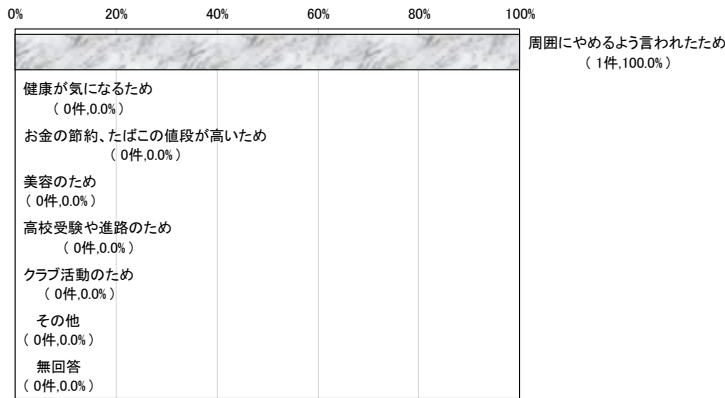


図 3-46 喫煙に対する意向(女性)

中学生 問2 1 (理由) 【複数回答】

やめたいと思う理由について教えてください。
(複数回答可)

回答者の喫煙をやめたい理由は、「周囲にやめるよう言われたため」が最も多く 100.0%であった。



※問21で1.「やめたいと思う」と答えた回答者のみ集計対象とした。

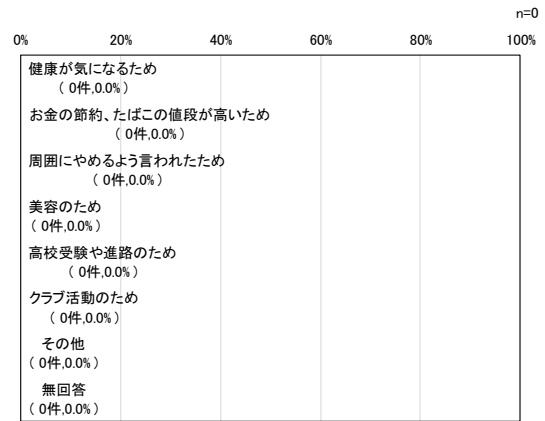
図 3-47 喫煙をやめたい理由

中学生 問2 1 (理由) 【複数回答】

男女別集計結果

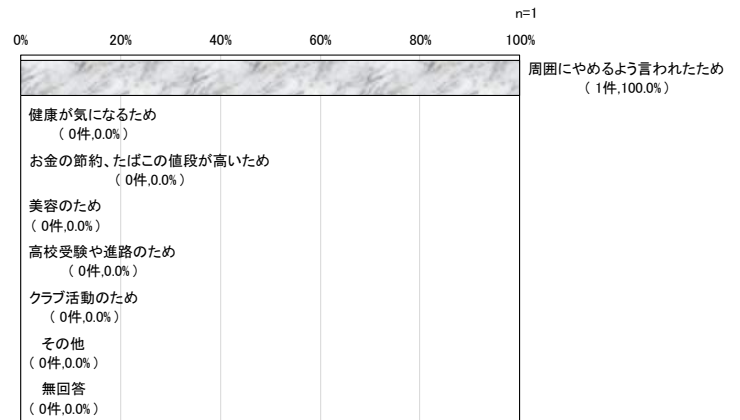
男性の喫煙をやめたい理由は、条件に該当するアンケートがなかった。

女性の喫煙をやめたい理由は、「周囲にやめるよう言われたため」が最も多く 100.0%であった。



※問21で1.「やめたいと思う」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-48 喫煙をやめたい理由(男性)



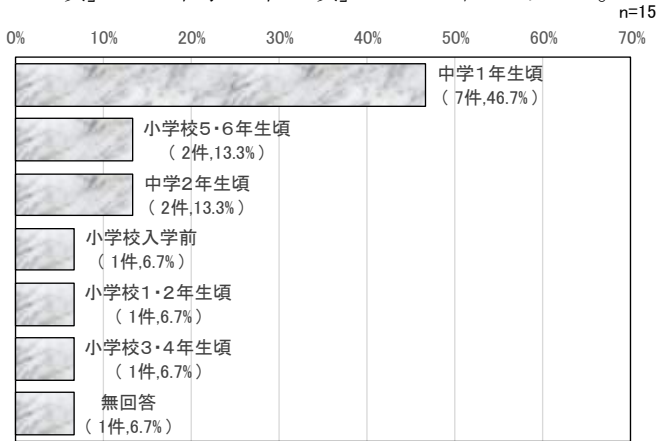
※問21で1.「やめたいと思う」と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-49 喫煙をやめたい理由(女性)

中学生 問22 【単独回答】

はじめて吸ってしまったのはいつですか。

回答者のはじめて喫煙した時期は、「中学1年生頃」が最も多く46.7%、次いで「小学校5・6年生頃」と「中学2年生頃」が13.3%であった。



※問19で2、3と答えた回答者のみ集計対象とした。

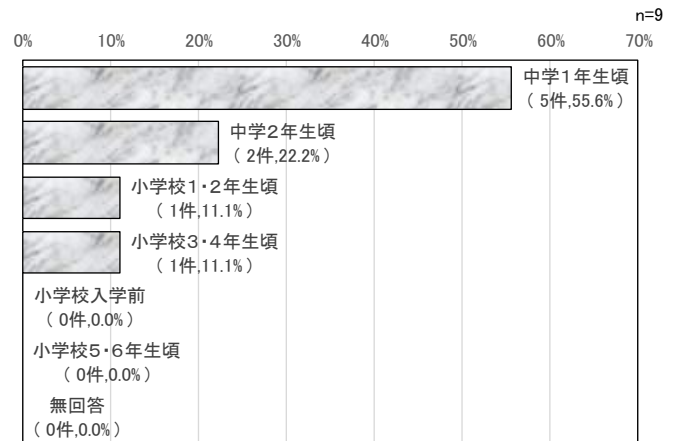
図 3-50 はじめて喫煙した時期

中学生 問22 【単独回答】

男女別集計結果

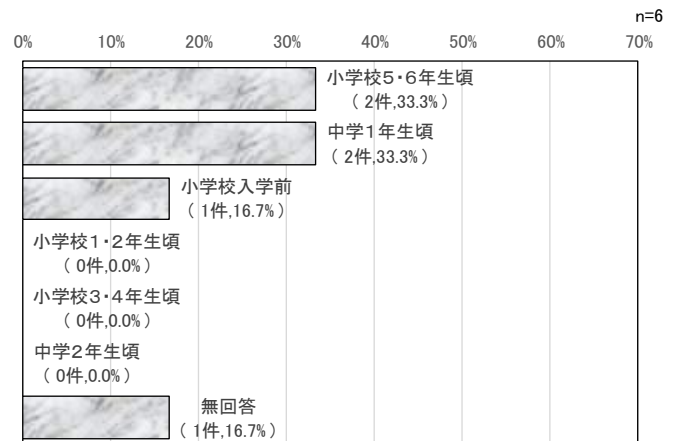
男性のはじめて喫煙した時期は、「中学1年生頃」が最も多く55.6%、次いで「中学2年生頃」が22.2%であった。

女性のはじめて喫煙した時期は、「小学校5・6年生頃」と「中学1年生頃」が最も多く33.3%、次いで「小学校入学前」が16.7%であった。



※問19で2、3と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-51 はじめて喫煙した時期(男性)



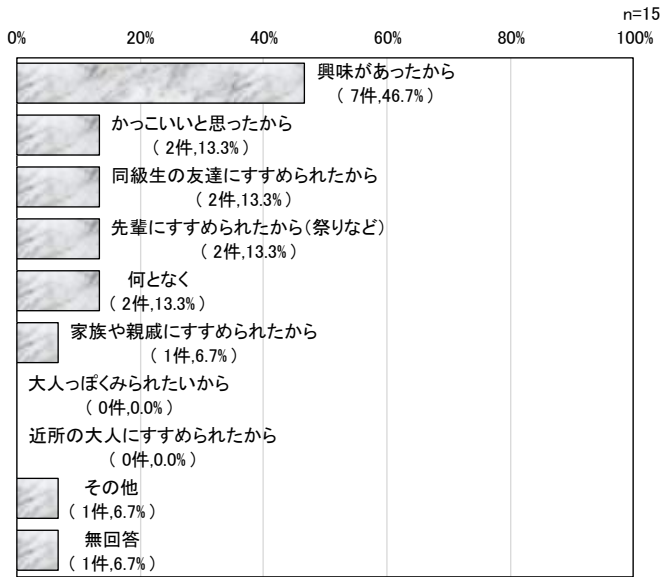
※問19で2、3と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-52 はじめて喫煙した時期(女性)

中学生 問23 【複数回答】

初めてたばこを吸ってしまったきっかけは何ですか？（複数回答可）

回答者の喫煙のきっかけは、「興味があったから」が最も多く46.7%、次いで「カッコいいと思ったから」と「同級生の友達にすすめられたから」と「先輩にすすめられたから（祭りなど）」と「何となく」が13.3%であった。



※問19で2、3と答えた回答者のみ集計対象とした。

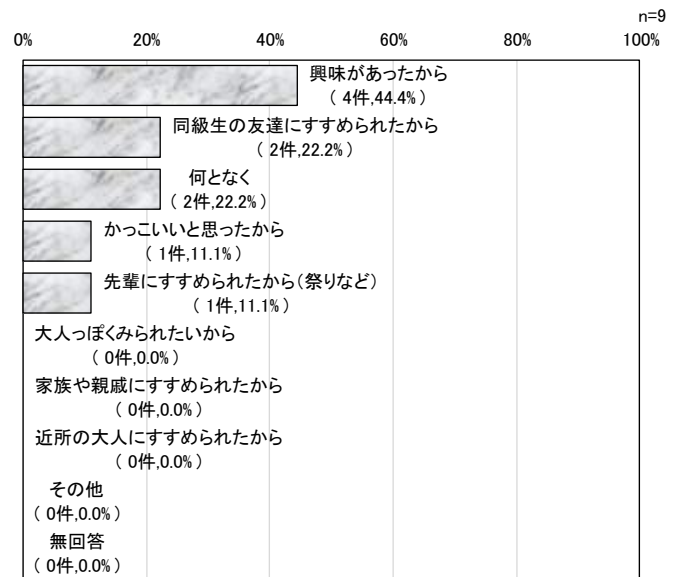
図 3-53 喫煙のきっかけ

中学生 問23 【複数回答】

男女別集計結果

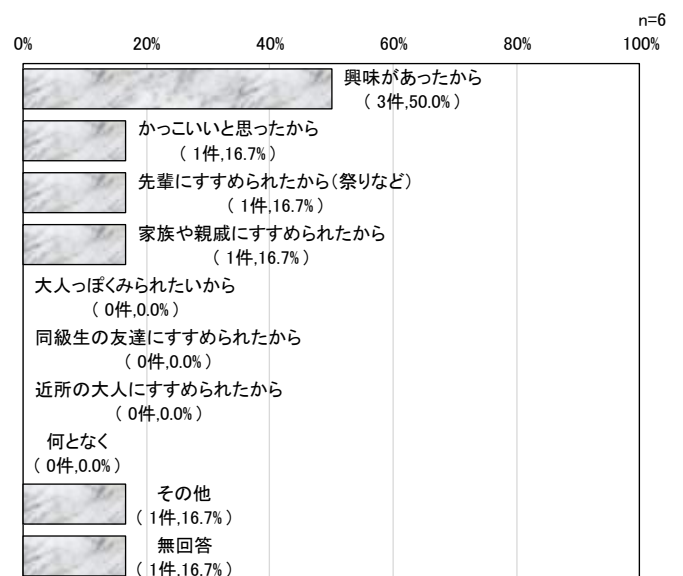
男性の喫煙のきっかけは、「興味があったから」が最も多く44.4%、次いで「同級生の友達にすすめられたから」と「何となく」が22.2%であった。

女性の喫煙のきっかけは、「興味があったから」が最も多く50.0%、次いで「カッコいいと思ったから」と「先輩にすすめられたから（祭りなど）」と「家族や親戚にすすめられたから」が16.7%であった。



※問19で2、3と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-54 喫煙のきっかけ(男性)



※問19で2、3と答えた回答者のみ集計対象とした。

図 3-55 喫煙のきっかけ(女性)

中学生 問24 【複数回答】

中学生や高校生がたばこを吸うことについてどう思いますか。(複数回答可)

回答者の中高生の喫煙行為に対する考えは、「健康に害があるので良くない」が最も多く 77.8%、次いで「法律で禁止されているから良くない」が 68.9%であった。

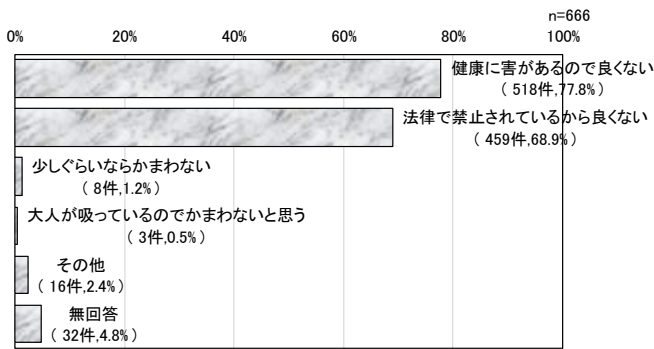


図 3-56 中高生の喫煙行為に対する考え

中学生 問25 【単独回答】

家の中でたばこを吸う人はいますか。

回答者の家庭内で喫煙する人の有無は、「いいえ」が最も多く 56.6%、次いで「はい」が 38.9%であった。

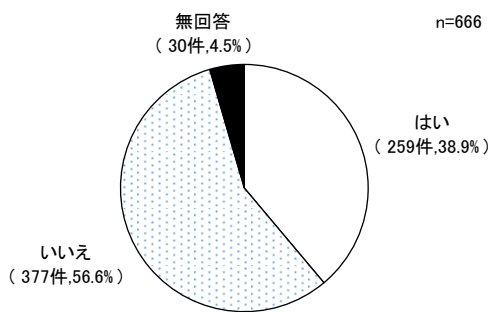


図 3-57 家庭内で喫煙する人の有無

中学生 問26 【複数回答】

たばこを吸っている人は下記の病気等にかかりやすくなる等、健康に影響があるとされています。あなたが知っているものはどれですか?知っているもの全てに○をしてください。

回答者の喫煙でかかりやすい病気の知名度は、「肺がん」が最も多く 86.5%、次いで「妊娠への影響」が 53.0%であった。

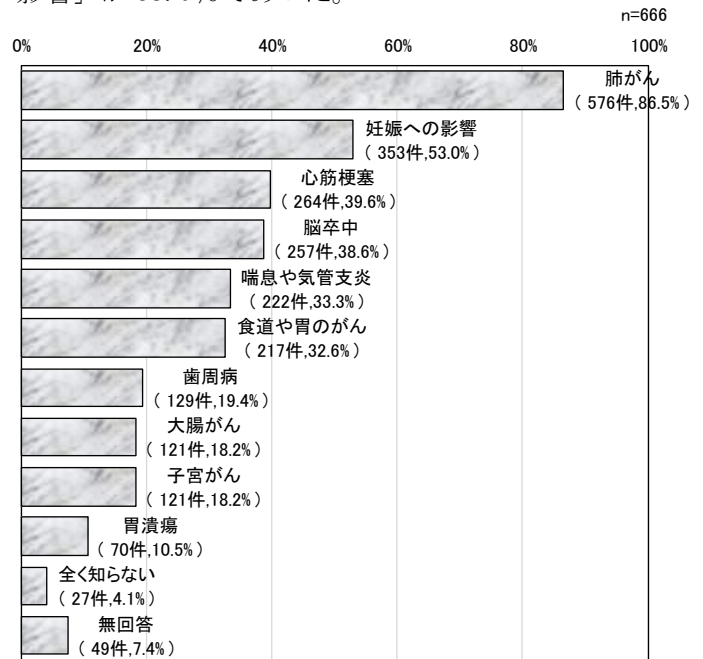


図 3-58 喫煙でかかりやすい病気の認知度

中学生 問27 【単独回答】

あなたは、上記のように副流煙には主流煙よりも悪い物質が多く含まれていることを知っていましたか?

回答者の副流煙の悪影響の認知度は、「知っていた」が最も多く 61.0%、次いで「知らなかった」が 30.3%であった。

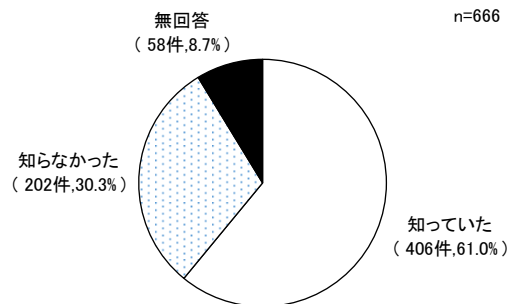


図 3-59 副流煙の悪影響の認知度

中学生 問28 【複数回答】

受動喫煙によって、下記のような病気にかかりやすくなったり、健康に影響を及ぼしたりすると言われてます。あなたが知っているものはどれですか？

回答者の受動喫煙でかかりやすい病気の知名度は、「肺がん」が最も多く70.4%、次いで「脳卒中」が30.5%であった。

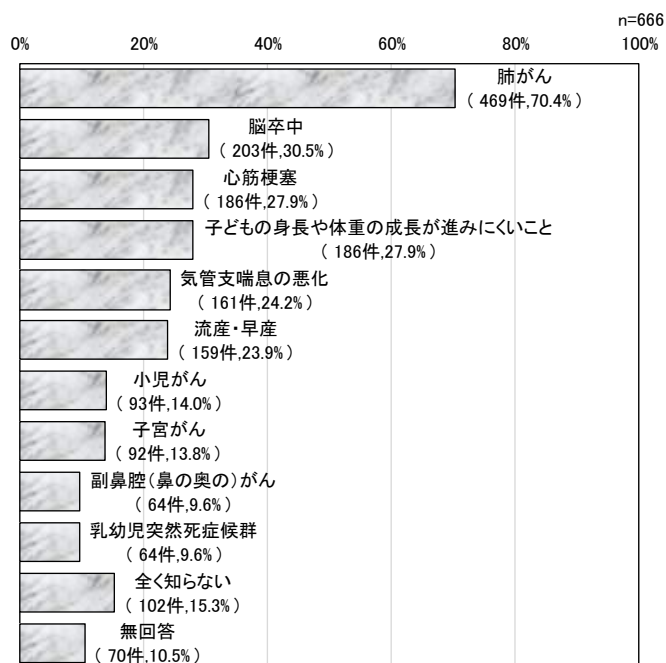


図 3-60 受動喫煙でかかりやすい病気の認知度